



第30回 文部科学大臣杯争奪

日整全国少年柔道大会

第11回 文部科学大臣杯争奪

日整全国少年柔道形競技会

【日時】令和**3**年**11**月**21**日(日)

午前**7**時**30**分開場 午前**8**時**30**分開始

【会場】講道館



主催 公益社団法人日本柔道整復師会

後援 スポーツ庁・厚生労働省・東京都・公益財団法人講道館・公益財団法人全日本柔道連盟・公益財団法人東京都柔道連盟・産経新聞社

協賛 公益社団法人全国柔道整復学校協会・公益財団法人柔道整復研修試験財団・一般社団法人日本柔道整復接骨医学会
日本柔道整復師協同組合

柔道整復師倫理綱領

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限りない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。

ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

1. 柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
2. 日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
3. 相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
4. 学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て接する。
5. 業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

昭和62年6月14日制定



ご挨拶

公益社団法人 日本柔道整復師会
会長 工藤鉄男

前回、前々回と中止となり、本年度は全国都道府県及び各ブロックから選ばれた少年少女選手諸君のご参加をいただき、文部科学大臣杯争奪第30回日整全国少年柔道大会、第11回日整全国少年柔道形競技会の二大会が無事に開催できますことを主催者として心から御礼申し上げます。また、本年度も日整全国柔道大会と全国柔道整復師高段者大会の2大会を中止としましたことをお詫び申し上げます。

本大会は、日本古来の武道である柔道を通じて、少年少女の心身の健全な育成に努めるとともに、自己の鍛錬と研鑽に努め、日本傳講道館柔道の普及発展に寄与することを目的として開催しております。

柔の道を学ぶことにより相手を尊重し敬う気持ちと所作が自然と身に付き、それを表現する作法を礼法と言います。礼に始まり礼に終わる敬意の精神を養うことは、嘉納治五郎師範の訓えでもある「自他共栄」へとつながります。

出場される少年少女の選手の皆様方は、コロナ禍により制約ある状況下で積み上げた稽古の成果をいかに発揮され、共に力を合わせ頑張ったことが一人ひとりの誇りとなる有意義な大会としていただき、これからも柔道を通し礼節を学び家庭生活や集団活動に活かし心豊かに力強く成長されることを期待します。

柔道整復師は職業に唯一「柔道」という冠名がつく誇りある職業であり、先達が日本古来の伝統技術を医療として遺した台木を更なる時代の変化に求められる多様性と安心安全な業とするため、さらなる業界の改革を積極的に行い、コロナ禍ではありますが、骨折・脱臼に回帰と超音波観察装置の取り扱いも取り入れた「匠の技」伝承10年プロジェクトもWEBを駆使し指導者講習を順調に進め確実な技術伝承と資質の向上を目指しております。また、今夏には2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会も無事開催され柔道競技はじめ各競技で多くのメダル獲得し素晴らしい大会となりました。組織委員会より選ばれた柔道整復師は各競技での医療救護を、都道府県柔道整復師会では各国の事前キャンプ及び関係団体へのサポートで参画をして活動致しました。

結びに、本大会開催にあたり、ご後援をいただきましたスポーツ庁・厚生労働省・東京都・講道館・全日本柔道連盟・東京都柔道連盟・産経新聞社、ご協賛いただきました全国柔道整復学校協会・柔道整復研修試験財団・日本柔道整復接骨医学会・日本柔道整復師協同組合、そして、企画・運営にご尽力いただきました関係者の皆様方にこころより感謝申し上げます、挨拶といたします。



祝 辞

厚生労働大臣

後 藤 茂 之

第30回日整全国少年柔道大会及び第11回日整全国少年柔道形競技会が開催されるに当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

本大会を主催される公益社団法人日本柔道整復師会におかれては、昭和28年の創立以来、柔道整復の普及発展、国民の保健衛生の向上に大きく貢献してこられました。これまでの関係者の皆様方のご尽力に対し、改めて敬意を表します。

さらに、柔道整復師の皆様方には、今般の新型コロナウイルス感染症の状況下においても、社会生活を維持する上で必要な施設として、感染予防対策を取りながら、施術を続け尽力されていることにも、深く感謝いたします。

我が国の医療制度は、高齢化が進展する中で、比較的低い国民負担で公平性を担保し、質の高い医療サービスを提供している点が世界的にも高く評価されており、我が国が誇る資産です。

また、我が国は高齢化がさらに進んでいくことが予想されており、団塊の世代が75歳を迎える2025年を目途に、介護が必要となった場合にも住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めています。

こうした中で、柔道整復の果たす役割や、柔道整復に対する国民の期待は、今後ますます大きくなっていくものと考えます。

また、こうした時代の要請に対応できるよう、これまで以上に高い資質の柔道整復師の養成が求められており、平成30年4月より、新たな柔道整復師学校養成施設カリキュラムによる教育が始まっております。

こうした取組を通じて、高い資質を持った柔道整復師が養成され、良質な施術が提供されることを期待しています。

柔道整復師の皆様方が、研鑽を重ね、これまで以上にその真価を発揮されていくことを期待するとともに、本大会に参加される選手の皆様方には、日頃の練習の成果を十分に発揮されることを期待しています。

最後に、公益社団法人日本柔道整復師会のご発展と、お集まりの皆様方のご健勝、ご活躍を祈念して、お祝いの言葉といたします。

令和3年10月18日



祝 辞

文部科学大臣

末 松 信 介

文部科学大臣杯争奪第30回日整全国少年柔道大会及び第11回日整全国少年柔道形競技会が、全国から多数の参加者を得て、柔道の聖地であるここ講道館で開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

全国各地の厳しい予選を勝ち抜き、晴れて都道府県の代表として出場される選手の皆さん、誠におめでとうございます。これは、皆さんが日々真剣に柔道に取り組み、厳しい稽古を積み重ねた成果であるとともに、周りの指導者、御家族の支援の賜物です。応援してくれている方々への感謝の気持ちを胸に存分に力を発揮してください。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、文部科学省では、同大会のレガシーとして生活の中に自然とスポーツが取り込まれている「スポーツ・イン・ライフ」という姿を目指し、スポーツを通じた健康増進や子供の体力向上といった施策に取り組んでいます。このような中、皆さんのように柔道を通じたスポーツの習慣を身に付けられていることは、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を構築する上で大変有意義なことです。

選手の皆さん、日頃の練習の成果を十分に発揮するとともに、全国から集まった仲間との交流を大いに深めてください。そして本大会が、皆さんの今後の人生における大きな財産となることを期待しております。

結びに、感染症対策を講じながら伝統ある本大会の開催、運営に御尽力されました公益社団法人日本柔道整復師会をはじめ、関係の皆様方に心から敬意を表しますとともに、本大会の御成功を祈念して、お祝いの言葉といたします。

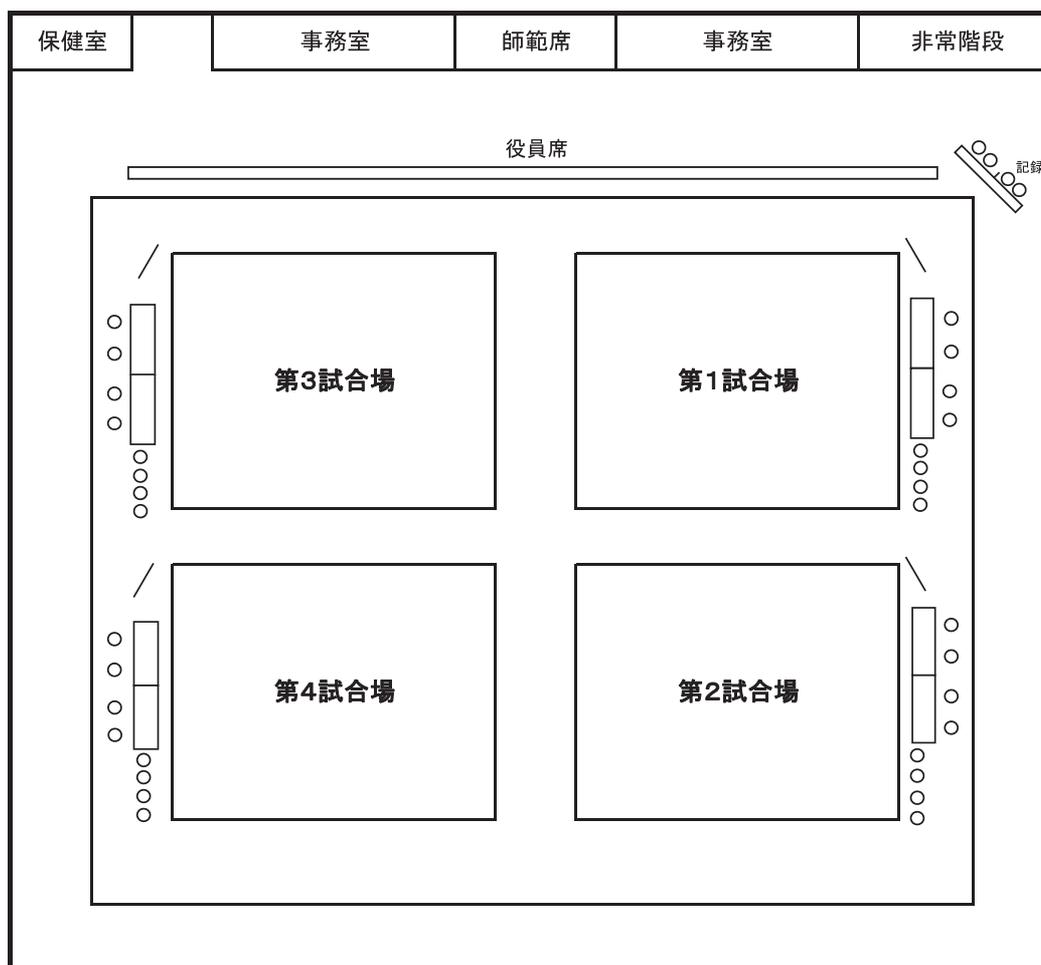
令和3年10月12日

日整全国少年柔道大会 次第

日整全国少年柔道形競技会

- 1 開会
- 1 少年柔道大会
- 1 少年柔道形競技会
- 1 閉会

7階 大道場 会場図



第30回日整全国少年柔道大会 第11回日整全国少年柔道形競技会

タイムスケジュール

〔7階 大道場〕

	7:30	開場			
	8:00	審判・監督会議（少年柔道）			
	8:30	開会（準備が整い次第）			
【柔道1回戦】	9:00	1-1	2-1	3-1	4-1
	9:15	1-2	2-2	3-2	4-2
	9:30	清掃			
	9:40	1-3	2-3	3-3	4-3
	9:55	1-4	2-4	3-4	4-4
	10:10	清掃			
【柔道2回戦】	10:20	1-5	2-5	3-5	4-5
	10:35	1-6	2-6	3-6	4-6
	10:50	清掃			
	11:00	1-7	2-7	3-7	4-7
	11:15	1-8	2-8	3-8	4-8
	11:30	清掃			
【柔道3回戦】	11:40	1-9	2-9	3-9	4-9
	11:55	1-10	2-10	3-10	4-10
	12:10	清掃			
【柔道準々決勝】	12:20	1-11	2-11	3-11	4-11
	12:35	清掃			
【柔道準決勝】	12:45	1-12		3-12	
	13:00	清掃			
【柔道決勝】	13:10	1-13			
	13:25	清掃			
※少年柔道と少年形の選手団、完全入替					

	14:00	監督会議（少年形）			
【形予選】	14:35	1 チーム目			
	14:41	2 チーム目			
	14:47	3 チーム目			
	14:53	4 チーム目			
	15:00	5 チーム目			
	15:06	6 チーム目			
	15:12	7 チーム目			
	15:18	清掃			
【形決勝】	15:28	1 チーム目			
	15:34	2 チーム目			
	15:40	3 チーム目			
	15:46	4 チーム目			
	15:52	清掃			
	16:05	閉会			
※進行状況によりスケジュールが前後する場合があります。					

大会役員

(敬称略・順不同)

大会名誉会長	上村春樹	山下泰裕	
大会顧問	鳥海又五郎 市毛繁実	小熊敦郎	谷口和彦
大会相談役	反町健二郎	山口綱孝	沢田守
大会会長	工藤鉄男		
大会副会長	松岡保	三橋裕之	
大会参与	石原誠 竹藤敏夫 徳山健司 伊藤述史 富永敬二 嶋谷清	伊藤宣人 山崎邦生 豊嶋良一 森川伸治 齋藤武久 高橋政夫	長尾淳彦 川口貴弘 齊藤勝典 大河原晃 田村清

大韓民国柔道連盟杯

日本柔道整復師会は、大韓武道学会などで毎年発表し、柔道整復術並びに柔道を通じて友好関係を構築してきました。その友好の証として大韓民国柔道連盟会長 金正幸龍仁大学総長より日整全国少年柔道大会と日整全国柔道大会に対して大韓民国柔道連盟杯を平成11年に寄贈していただきました。

モンゴル国友好杯

日本柔道整復師会は、外務省の日本NGO支援無償資金協力「日本伝統治療(柔道整復術)普及事業」において、モンゴル国での医師卒後研修による人材育成に協力しておりますが、その協力の証としてモンゴル国より日整全国少年柔道大会と日整全国柔道大会にモンゴル国友好杯を寄贈していただきました。

参 与

(敬称略・順不同)

幸学人章一生進登孝樹悅行雄邦昭正博重了隆和平之寛信男正謙護夫之隆美史美厚邦治郎伸篤志男幸一夫郎明
 敏 義裕敏道 一秀鋼昌光英重行 政稔 正公富 和英訓 志尚義吉正高益 義弘拓博 厚澄弘洋哲恵博
 坂藤村川田原川谷元邊川美崎藤村木畑村島原 羽山邊藤村山潟藤守 野谷室口子下本林江田田森原藤川松田田
 小加西石前見藤梶山渡荒宇^佐高尾中鈴大西西萩原前内渡加吉高三伊箱関萩細大浜金宮堂小杉米上藤藤加小重太園
 治巧亨親司司弘進等胤介毅光勉二男和教幸久雄直直昭照一二治也進祐則昭吾吾勉明彦秀人浩進信樹良伸治已均
 洋高 重喜^代裕 雅健 啓 榮三正光佳官春 忠芳吉良幸卓 研知 彰省 久剛和和雅 秀秀尚敏榮利
 井川澤 田本井野本内川岸木田部田原田本田條林口藤本野池本澤中澤橋岡本田池木谷川部井本野場藤高田本口
 倉小長辻中松櫻水橋池大山八上磯江萩鎌橋永西竹洞大岩牧小岡芦眞原高山梅吉小柏^ツ二藤服今藤永馬近神村楠橋
 建生行治康明德盛洋平秋男利宏勉一郎夫^太三隆榮章磨郎信樹明由裕之明民雄二之利彦滿寿幸弘夢朝司史秀也明生
 道志良 高清西 八通國治宣 傳和健^太松芳共善 道利秀英 寿義一光裕伸和正 一芳英何^時正仁清義哲博開
 川 木山石下村木田矢木村川山部原藤田田田林川川野江田井田田藤原辺村澤井野井田杉 村藤施本村本川崎須
 市英高村大森木佐^々増大^本八門齋丸阿栗伊石柳黒若市及鹿中和増池櫻遠江渡木田深狩酒森上篁中尾布阪岡藤塩江奈
 之彦夫廣二雄康好弘廣彦一雄彦博久輝一晴一弥道一肇昇二由郎納司夫彦男郎宏雄智優努雄宏章夫二章樹光彦隆人
 廣彰一 康壽晴喜明幸易洋郁邦 和豊隆稔洋欽尚金 祥治伸^一 公富一和満 茂 岩忠昌靖謙正正俊喜昌正
 内崎山宮井原田村浦木邊合山江柳本 子間田本藤藤井本岡下岡部藤代水田谷井子山合木川科田口定本岡橋村本吉
 池杉向高白栗室野松鈴渡小青相小岡林砂^久佐清寺齊佐宇橋片宮龜阿佐田清磯苧新金丸河鈴早仁岸川成森長高吉杉國

(歸一精鍊賞受賞者・歸一功勞賞受賞者・代議員)

第30回日整全国少年柔道大会 第11回日整全国少年柔道形競技会

審判員名簿

(敬称略・順不同)

審判長 鮫 島 元 成

審判部 岩 澤 勇 治

氏 名	所 属	氏 名	所 属
雨 谷 紀 雄	茨 城 県	別 所 道 記	東 京 都
寺 内 秀 夫	栃 木 県	寶 田 健	東 京 都
藤 川 進	群 馬 県	仁 平 正 洋	東 京 都
茂 木 恒	埼 玉 県	上 本 英 彦	東 京 都
藤 崎 満	千 葉 県	道 場 良 久	講 道 館
松 本 鉄 雄	神 奈 川 県	平 野 弘 幸	講 道 館
渡 辺 直 也	山 梨 県	南 保 徳 双	講 道 館
岡 部 洋 興	東 京 都	眞喜志 慶 治	講 道 館
新 井 博 海	埼 玉 県	小志田 憲 一	講 道 館
車 耕 一	神 奈 川 県	山 本 三四郎	講 道 館
清 水 泰 平	神 奈 川 県	秋 山 日向子	講 道 館
木目沢 哲 哉	東 京 都	藤 中 拓 馬	講 道 館

柔道審判担当表

(○印は主任)

第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場
○雨 谷 紀 雄	○岡 部 洋 興	○清 水 泰 平	○別 所 道 記
道 場 良 久	平 野 弘 幸	南 保 徳 双	眞喜志 慶 治
寺 内 秀 夫	仁 平 正 洋	茂 木 恒	寶 田 健
○車 耕 一	○木目沢 哲 哉	○藤 川 進	○渡 辺 直 也
小志田 憲 一	山 本 三四郎	秋 山 日向子	藤 中 拓 馬
藤 崎 満	新 井 博 海	松 本 鉄 雄	上 本 英 彦

形審査担当表

道 場 良 久	平 野 弘 幸	南 保 徳 双	眞喜志 慶 治
小志田 憲 一	山 本 三四郎	秋 山 日向子	藤 中 拓 馬

柔道試合場担当主任

第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場
原 壯 嘉	田 澤 俊 二	増 田 泉	堀 内 圭 司

第30回日整全国少年柔道大会 第11回日整全国少年柔道形競技会

〈敬称略・順不同〉◎責任者 ○主任

大会委員長	竹藤 敏夫 (茨城県)		
大会副委員長	齋藤 武久 (神奈川県)		
大会委員	田代 富夫 (栃木県)	原澤 研祐 (群馬県)	大河原 晃 (埼玉県)
	木村 光雄 (千葉県)	大室 正美 (山梨県)	伊藤 述史 (東京都)
審判長・形審査員長	鮫島 元成		
大会顧問医	市毛 繁実		

優秀選手・フェアプレー賞選考委員

委員長	◎木村 光雄 (千葉県)		
委員	○原澤 研祐 (群馬県)	○大河原 晃 (埼玉県)	○大室 正美 (山梨県)
事業運営部	◎竹藤 敏夫 (茨城県)	○齋藤 武久 (神奈川県)	○荻野 義之 (埼玉県)
	○浜口 高史 (東京都)	○鈴木 努 (静岡県)	
放送係	○塩部 泰 (東京都)	小暮 正之 (東京都)	
経理係	◎石原 誠 (香川県)		
競技部	加藤 大明 (新宿医療専門学校教員)	関 凌真 (新宿医療専門学校教員)	佐藤 篤史 (新宿医療専門学校教員)
	○曾我 昌企 (神奈川県)	松田 卓也 (東京都)	学生 (新宿医療専門学校)
第1試合場	○原 壯嘉 (神奈川県)		
第2試合場	○田澤 俊二 (神奈川県)		
第3試合場	○増田 泉 (埼玉県)		
第4試合場	○堀内 圭司 (埼玉県)		
会場係	○篠 弘樹 (東京都)	中山 隆喜 (東京都)	田村 大 (東京都)
救護係	市毛 雅之 (東京都)	野崎 洋 (東京都)	
審判部	◎岩澤 勇治 (静岡県)		
広報部	◎山崎 邦生 (岡山県)		
記録係	◎田村 清 (群馬県)	田代 富夫 (栃木県)	
写真・動画係	◎山田 俊志 (石川県)	藤井 剛寛 (東京都)	
受付係	○浜口 高史 (東京都)		
	○鈴木 努 (静岡県)		
	○荻野 義之 (埼玉県)	○新井 宏 (東京都)	○深井 伸之 (東京都)

第30回日整全国少年柔道大会 第11回日整全国少年柔道形競技会

新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

令和3年6月21日現在

1. 大会開催について

- (1) 会場に入館できるのは選手団【選手・監督】・コーチ（少年柔道のみ）・審判員・日整役員・委員係員・学生補助員のみとする（無観客開催）。
- (2) 開閉会式・表彰式等はできる限り簡略化する。
- (3) 全ての入場者は常時マスクを着用する。
※選手も競技中以外はマスクを着用する。

2. 体調管理について

- (1) 選手団・審判員・日整役員・委員係員・学生補助員などすべての参加予定者は入場時に検温等の入場チェックを実施し、事前に配布された2週間前からの健康管理表を、当日入場時に提出する。
※大会当日、健康記録表の提出がない者の入場を許可しない。また、健康記録表に異常（発熱や有症状）がある場合や以下の場合には入場を断る。
ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
※発熱の基準は、37.0度以上とする。ただし、平熱が37度前後の場合は、平熱+0.5度までは参加を認める。平熱は直前2週間の平均値とする。
- (2) 選手の試合参加の入場プロトコールは以下のようになります。

〈選手の試合参加の入場プロトコール〉

	内容	試合参加
1	健康記録表や誓約書を提出しない	×（不可）
2	試合や計量当日に発熱（37.0度以上）や諸症状がある	×（不可）
3	試合前2週間のうち、最初の1週間で連続する3日以上発熱（37度以上）や諸症状があった	×（不可）
4	試合・計量3日前から発熱（37度以上）や諸症状がある（あった）	×（不可）
5	試合前2週間のうち、最初の1週間で連続した2日以内の発熱（37.0度以上）や諸症状があった	○（可）
6	試合前2週間のうち、後半の1週間で4日前までの1日だけに発熱（37.0度以上）や諸症状があった	○（可）

出場チームにおいては、選手が一人でも有症状のために試合参加不可となった場合、試合出場は原則不可と判断する。

第30回 日整全国少年柔道大会、 第11回 日整全国少年柔道形競技会に 来場される皆様へ

本大会はコロナ禍のなか開催される全国大会です。柔道は3密を避けられない競技です。大会で感染者が発生しないよう以下の注意事項をよくご理解いただき、実行していただくようお願い申し上げます。

1. 顔を触れる前に必ず手指衛生を

ウイルスは目と鼻、口から体内に侵入します。咳やくしゃみによる飛沫感染だけでなく、手指を介した接触感染も問題です。人は1時間に20回以上顔を触るとされています。こまめに流水と石鹸による手洗いやアルコール消毒を心掛けてください。

2. 「3密」をさける

新型コロナウイルスの潜伏期間（発生するまでの期間）は最長で2週間とされています。大会2週間前から不要不急の外出は極力自粛し、3密となりやすい飲食店などの利用は控えてください。

3. 大会の2週間前から体調チェックのお願い

11月8日から毎日の検温をお願いします。体温と健康状態を「健康管理表」にご記入いただき、当日、お持ちください。当日会場で行う検温や「健康管理表」で症状があった場合は入場できないこともあります。

また、「健康管理表」をご提出いただけない場合も入場をお断りいたします。

文部科学大臣杯争奪

第30回日整全国少年柔道大会実施要項

- 1.日 時 令和3年11月21日（日） 午前7時30分開場
午前8時30分開会
- 2.会 場 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館大道場（7階）
電 話 03-3818-4171
- 3.趣 旨 柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、参加者相互の親睦ならびに柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に寄与することを目的とする。
- 4.主 催 公益社団法人日本柔道整復師会
〒110-0007 東京都台東区上野公園16-9
電 話 03-3821-3511 F A X 03-3822-2475
<http://www.shadan-nissei.or.jp/>
- 5.後 援 スポーツ庁、厚生労働省、東京都、公益財団法人講道館、
公益財団法人全日本柔道連盟、公益財団法人東京都柔道連盟、産経新聞社
- 6.協 賛 公益社団法人全国柔道整復学校協会、公益財団法人柔道整復研修試験財団、
一般社団法人日本柔道整復接骨医学会、日本柔道整復師協同組合
- 7.主 管 日本柔道整復師会 関東ブロック会・東京ブロック会
- 8.参加資格 各都道府県より1チーム ただし、開催地は2チームの計48チーム。
（監督と出場選手は、全日本柔道連盟登録済みであること。）
- 9.選 手 団 (1)構 成 監督1名（日整会員に限らない）、選手5名
(2)選手選考方法 自由とする。
(3)選 手 内 容 小学4年生1名
小学5年生2名
小学6年生2名 計5名
(4)国籍、男女を問わない、学齢適齢であること。該当学年に欠員の場合は下位学年で補う。ただし、3年生以下は参加を認めない。
(5)学年順・軽量から順番に先鋒より配列のこと。
(6)補欠は認めない。
(7)コロナ禍対策で、選手変更受付期限は11/18（木）正午までとする。選手変更する場合は、変更受付期限までに、日整あて「変更届」および「承認書」ご提出のこと。
日整メールアドレス jigyo@shadan-nissei.or.jp
日整FAX 03-3822-2475
- 10.試 合 (1)団体トーナメント方式とする。
(2)「国際柔道連盟試合審判規定」、「少年大会特別規定」による。
(3)勝敗の決定方法は「一本」「技有」「僅差」*の3種類とし、それに満たない場合は「引き分け」とする。
*「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技有）がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差であれば「引き分け」とする。
（「指導」数によって勝敗が決する例＝0対2）
（「指導」数に差が出て引き分けになる例＝0対1、1対2）
(4)本大会では十分な試合場の広さが確保できないため、選手の体が、床・机・椅子・掲示版等に触れた場合は、「待て」をかけるものとする。

- (5)試合時間は2分間とする。
- (6)同点の場合は、内容によって勝敗を決する。
内容も同じ場合は、任意選手による代表戦（2分間、ゴールデンスコアの方式をとらない）を1回行い必ず勝敗を決する。
- (7)内股、払腰等の技を掛けるか、または掛けようとしながら、身体を前方へ低くまげ、頭から畳に突っ込むこと、また、立ち姿勢または膝をついた姿勢から、肩車のような技を掛けながら、あるいは掛けようとしながら、まっすぐ後方に倒れることにより、直接「反則負け」となった場合は、頸椎などに異常が生じている可能性があるため、その後の一連の試合には出場できない。
- (8)試合場は32畳（赤畳の中）とする。
- (9)不測の事態が生じた場合の処置は、審判長に一任する。

11.会 議
12.表 彰

- 審判員、監督会議は大会当日行う。
- (1)優勝チームには文部科学大臣賞状並びに文部科学大臣杯を授与し、前年度優勝チームには文部科学大臣杯レプリカを授与する。
- (2)優勝・準優勝・第三位（2チーム）を表彰し、第五位入賞チーム（4チーム）は、敢闘賞を授与する。
- (3)優秀選手5名を表彰する。
- (4)試合マナーの優良なるチームにフェアプレー賞を授与する。（4チーム）
- (5)出場チーム全員に参加賞を授与する。

13.申し込み

- (1)申し込みは所定の書類により日本柔道整復師会宛に申し込むこと。
- (2)出場申込書には、所属都道府県柔道整復師会会長の承認印を必要とする。
- (3)参加選手は、保護者の参加承認書を申し込み時に必ず提出のこと。なお、保護者は参加選手の大会出場にあたり、事前に医師の健康診断を受けさせ、異常（試合の出場に支障）がないことを確認しておくこと。
- (4)各チームの集合写真を申し込み時に提出のこと。（17.集合写真 参照）
- (5)申し込み締切日は8月末日必着とする。（申込書はエクセルファイル、原本どちらも必要）

※申込書Excelファイルのデータ提出：jigyo@shadan-nissei.or.jp（日本柔道整復師会 事業部宛）

14.交 通 費

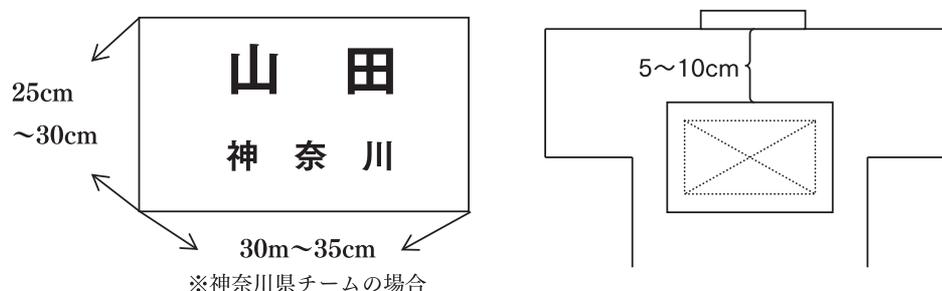
選手団の交通費は、各都道府県社団所在地の最寄JR駅より東京都区内までの往復普通運賃および特急料金を主催者負担とする。ただし、北海道、四国、九州の各県は往復航空料金とする。

15.宿 泊

- (1)宿泊費は各都道府県チームの負担とする。
- (2)宿泊は要請があれば主催者側で宿泊所を紹介する。

16.ゼッケン

出場選手は、必ずゼッケンを縫い付けた柔道衣を着用のこと。

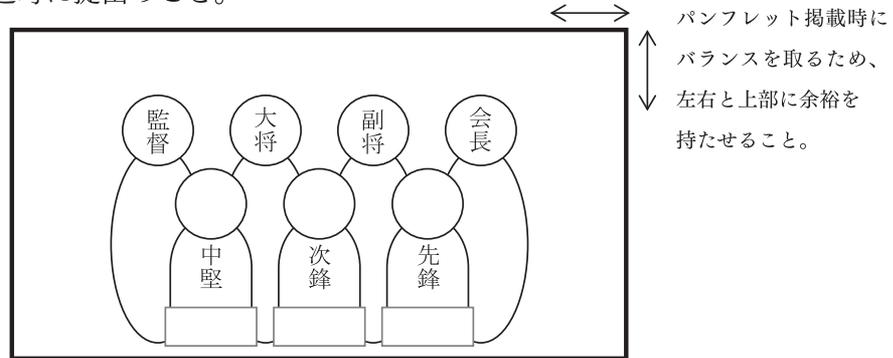


- (1)布地は白地(晒・太綾)で書体は太いゴシックまたは明朝体とし、男子は黒字、女子は濃赤字。

- (2)サイズは縦25～30 cm、横30～35cm。
- (3)苗字（姓）は上側2/3、所属の都道府県名は下側1/3。
- (4)縫い付けの場所は後ろ襟から5～10 cm、対角線にも強い糸で縫い付けること。

17.集合写真

申込時に提出のこと。



- (1)選手は柔道着を着用。
- (2)並びは左から、後列立位：監督、大将、副将、都道府県会長、前列正座：中堅、次鋒、先鋒 の順。（膝から上を撮影）
- (3)3MB以上のJPG データで提出のこと。

18.特記事項

- (1)本大会では「試合場におけるコーチの振る舞いについて」および「脳震盪対応について」平成24年4月1日付け全日本柔道連盟通達（別添参照）を適用する。
なお、大会当日、「選手規程に関わる報告書（脳震盪対応について）」を提出のこと。
- (2)皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

19.その他

- (1)参加者全員の傷害保険は主催者負担とする。
- (2)試合当日は健康保険証を持参すること。（写でも可）
- (3)負傷した者は直ちに大会救護係へ報告し、大会顧問医の診察を受け報告書を提出すること。
- (4)当日大会で負傷して、やむを得ず病院等に搬送した場合、初診時費用は主催者の日本柔道整復師会負担とする。この報告書の提出なき者は、すべて自己負担とする。大会終了後は受け付けない。
- (5)出場者は、所管の教育委員会または在学校長等の承認および許可が必要なところもあるので、遺漏のないようにすること。
- (6)審判員および委員係員など当会業務として本大会に招聘された者は、本会規定に基づく役員に準ずる者（本会が役員に準ずる者として招聘した者）としての鉄道賃の額を支給する。

20.個人情報、肖像権の取り扱いについて

- 参加申込用紙に記載された個人情報は、参加申込用紙の提出により、下記取り扱いについての承諾をしたものとする。
- (1)大会中に撮影された写真、動画が大会プログラム、大会ホームページ等に掲載される場合や柔道の普及活動に使用される場合がある。
 - (2)報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
 - (3)提出された個人情報については、上記目的以外に使用しない。

試合場におけるコーチの振る舞いについて

平成24年4月1日
公益財団法人全日本柔道連盟

コーチの役割

1. コーチは、選手への様々な状況における指示、戦術的なアドバイス、怪我の対応など、選手とのコミュニケーションを取ることを目的とする。
2. コーチは、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。

コーチの場所

1. 原則として各試合場の正面と反対側、あるいは試合場の横側に、コーチ1名のみ入ることが許され、用意された椅子に着席しなければならない。
2. 伝統的にコーチを認めていない大会（全日本選手権大会など）においては、主催者の判断による。

コーチの言動

1. 試合が止まっている間（「待て」から「始め」の間）のみ、選手に対して指示を与えることができる。試合続行中は、選手に対して指示を与えることが許されない。
2. 次の行為を禁止する。
 - (ア) 試合が続行している最中に指示を出すこと。また、試合中に立ち上がること。
 - (イ) 審判員の判定に対し、コメントや批判、或いは訂正を要求すること。
 - (ウ) 対戦相手、審判員、役員、一般客、および自分自身の選手を侮辱するような行為
 - (エ) 広告看板や器具に触ったり、殴ったり、蹴ったりすること。
 - (オ) その他、柔道精神に反する行為
3. 原則として、コーチは審判員に準じた服装とし、IDカードを付けるものとする。

罰 則

上記に違反した場合は、下記による処分を科するものとする。

1. 1回目は、審判員が合議の上、口頭による注意をする。
2. 1回目の注意で改善されない場合は、審判員が大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとにその試合が終了するまで試合場フロアの外へ退去させる。但し、試合はその後も続行するものとする。
3. 次の試合からは、またコーチ席に座ることができるが、その後も改善が見られない場合は、その大会期間を通して試合場フロアへの入場を禁止する場合もある。

脳震盪対応について

ジュニア（20歳未満）以下の大会要項に下記条項に追加する。

選手および指導者は下記事項を遵守すること。

1. 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け、出場の許可を得ること。
2. 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）
3. 練習再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

第30回日整全国少年柔道大会 出場者一覧

青 森 県								岩 手 県							
															
監 督 種 市 清 孝								監 督 久 松 尚 也							
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別			氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別	
大将	佐藤 慧珠	6	155	82	H21.4.22	男	大将	日向 琉稀	6	152	68	H21.8.6	男		
副将	野田頭 謙信	6	167	67	H21.8.11	男	副将	四作 周稜	6	166	50	H21.6.13	男		
中堅	野辺地 宇綺	5	152	85	H22.12.10	男	中堅	大畑 隼斗	5	146	40	H22.5.7	男		
次鋒	前田 力空	5	161	62	H23.1.18	男	次鋒	松坂 斎輝	5	146	39	H22.10.5	男		
先鋒	大関 元裕	4	143	64	H24.2.22	男	先鋒	細工藤 輝	4	140	37	H23.6.9	男		
宮 城 県								秋 田 県							
															
監 督 木 村 孝 哉								監 督 石 戸 信 吾							
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別			氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別	
大将	日野 幸成	6	163	80	H21.11.6	男	大将	嵯峨 祐大	6	165	75	H21.10.7	男		
副将	森田 樹	6	150	63	H21.6.1	男	副将	田中 悠翔	6	164	55	H21.8.14	男		
中堅	高橋 希乃佳	5	145	64	H22.12.16	女	中堅	小原 京士	5	153	68	H22.6.29	男		
次鋒	田邊 悠真	5	143	46	H22.4.28	男	次鋒	齊藤 光翔	5	148	65	H22.12.17	男		
先鋒	工藤 貴良人	4	134	32	H23.9.7	男	先鋒	吉田 愛斗	4	156	68	H23.5.30	男		
山 形 県								福 島 県							
															
監 督 武 田 吉 和								監 督 青 柳 匡							
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別			氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別	
大将	石川 騰治	6	150	70	H21.9.10	男	大将	木幡 結翔	6	162	80	H21.6.12	男		
副将	清野 悠翔	6	153	50	H21.5.13	男	副将	柳沼 凱吏	6	156	55	H21.5.15	男		
中堅	山川 健太	5	142	64	H22.11.2	男	中堅	石井 潤之輔	5	150	59	H22.11.5	男		
次鋒	石川 晴悠	5	145	45	H22.5.10	男	次鋒	鈴木 類	5	154	58	H22.4.11	男		
先鋒	笠井 祈	4	142	33	H23.5.13	女	先鋒	三浦 夢羽生	4	143	45	H24.2.21	女		

茨城県								栃木県							
															
監督 岡本 栄治								監督 倉持 雅之							
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	岡本 焯	6	168	72	H21.6.8	男	大将	大賀 太陽	6	157	71	H21.5.21	男		
副将	山崎 悠生	6	160	65	H21.6.11	男	副将	大津 春樹	6	149	59	H21.5.5	男		
中堅	岩永 豊啓	5	145	61	H22.7.3	男	中堅	吉葉 琉真	5	158	73	H22.4.12	男		
次鋒	鉄炮塚 大成	5	145	60	H22.8.30	男	次鋒	山田 竣	5	147	59	H22.11.9	男女		
先鋒	海保 宗吾	4	161	87	H23.6.10	男	先鋒	甲斐 萌	4	134	43	H23.6.8	男女		
群馬県								埼玉県							
															
監督 渡辺 良行								監督 飯田 純子							
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	轟 竜悟	6	170	64	H21.4.21	男	大将	小林 陸	6	165	71	H21.6.12	男		
副将	齋藤 正真	6	154	53	H21.4.18	男	副将	小奥 悠晴	6	143	43	H21.10.8	男		
中堅	齋藤 優芽	5	142	54	H22.11.24	男	中堅	種市 司	5	159	66	H22.8.16	男		
次鋒	前間 麻椰	5	144	40	H22.8.18	女	次鋒	金子 瑠奈	5	145	48	H22.4.27	女		
先鋒	齋藤 琉	4	136	33	H23.5.30	男	先鋒	石川 榛	4	139	39	H23.5.29	女		
千葉県								神奈川県							
															
監督 杉崎 彰彦								監督 大友 隆雄							
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	川端 倫育	6	162	96	H21.12.29	男	大将	石上 航	6	162	68	H21.6.29	男		
副将	砂田 蓮音	6	162	91	H21.6.9	男	副将	原田 竜惺	6	150	50	H21.8.2	男		
中堅	渡辺 暖日	5	143	53	H23.3.9	男	中堅	エフベ 李珥睦	5	139	43	H22.4.2	男		
次鋒	高橋 行希	5	141	40	H22.5.6	男	次鋒	坂井 湊	5	139	40	H23.3.17	男		
先鋒	高橋 匡希	4	136	32	H23.8.4	男	先鋒	富樫 佑斗	4	150	53	H23.4.23	男		

山梨県								東京都A							
															
監督 芦澤尚秀								監督 原豊							
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	雨宮 琴ノ葉	6	157	84	H21.5.1	女	大将	窪田 侑	6	160	75	H21.6.24	男		
副将	山崎 煌心	6	150	47	H21.5.2	男	副将	山口 力也	6	165	70	H21.4.19	男		
中堅	天野 貴博	5	160	68	H22.6.23	男	中堅	上本 晃大	5	154	67	H22.6.27	男		
次鋒	白須 和総	5	137	31	H22.9.1	男	次鋒	林 煌晟	5	153	63	H22.4.8	男		
先鋒	大木 雄登	4	135	42	H23.9.30	男	先鋒	田 畑 陽大	4	150	58	H23.4.6	男		
東京都B								新潟県							
															
監督 佐々木 和行								監督 牛木 幹人							
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	植村 小太郎	6	147	62	平21.7.30	男	大将	青柳 周弥	6	159	79	H22.1.29	男		
副将	大平 一楽	6	165	57	平21.11.26	男	副将	宮尾 優輝	6	152	43	H21.12.6	男		
中堅	堀 琥太郎	5	160	70	平22.7.20	男	中堅	山崎 滉太	5	140	55	H22.7.10	男		
次鋒	石道 心晴	5	153	52	平22.8.12	女	次鋒	藤井 朗舞	5	149	53	H22.11.14	男		
先鋒	北尾 豪樹	4	147	84	平23.11.22	男	先鋒	高崎 陽士	4	140	36	H23.4.12	男		
長野県								富山県							
															
監督 村山 洸介								監督 立花 直人							
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	新井 王賀	6	156	78	H21.5.29	男	大将	松田 伍生	6	170	79	H21.5.1	男		
副将	徳武 八光	6	162	69	H21.9.28	男	副将	古澤 未来	6	150	70	H21.5.21	女		
中堅	平井 美月	5	154	62	H22.6.29	女	中堅	河部 綺音	5	150	47	H22.10.6	女		
次鋒	内藤 雄晟	5	143	48	H22.5.6	男	次鋒	安積 理佳	5	150	41	H22.7.15	女		
先鋒	百瀬 成将	4	145	65	H23.10.14	男	先鋒	吉野 七斗	4	140	50	H23.7.1	男		

石川 県							福 井 県						
													
監 督 西 田 佑 樹							監 督 八 本 木 通 秋						
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	古 谷 周太郎	6	157	65	H21.9.25	男	大将	田 畑 和 諒	6	160	64	H21.6.8	男
副将	酒 井 政 佳	6	158	53	H21.6.3	男	副将	藤 井 快	6	163	56	H21.8.5	男
中堅	沖 野 匠 吾	5	145	64	H22.12.3	男	中堅	中 野 心 晴	5	151	85	H22.7.14	男
次鋒	吉 田 寛 智	5	146	59	H22.4.18	男	次鋒	宮 川 悠 斗	5	150	42	H22.6.25	男
先鋒	北 野 誠 大	4	139	45	H23.9.13	男	先鋒	市 橋 知 宙	4	140	40	H23.6.5	男
静 岡 県							愛 知 県						
													
監 督 渡 邊 正 人							監 督 羽 田 野 剛						
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	星 谷 愛 彪	6	151	78	H22.3.29	男	大将	下 地 琉 仁	6	165	110	H21.4.27	男
副将	神 田 琉 空	6	158	65	H21.6.12	男	副将	安 江 優 太 郎	6	145	48	H21.7.13	男
中堅	横 野 慶 多	5	153	61	H22.8.3	男	中堅	川 満 冠 汰	5	150	83	H22.12.15	男
次鋒	杉 山 泰 資	5	150	55	H22.8.13	男	次鋒	田 中 成 志 朗	5	145	60	H22.9.21	男
先鋒	望 月 一 翔	4	143	62	H23.4.12	男	先鋒	吉 田 空 雅	4	150	80	H23.11.10	男
三 重 県							岐 阜 県						
													
監 督 古 市 博 己							監 督 篠 田 善 晴						
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	吉 松 遼 也	6	156	87	H21.8.7	男	大将	河 合 惺 空	6	160	87	H21.9.29	男
副将	藤 田 朋	6	167	72	H21.5.3	男	副将	岩 崎 康 汰 朗	6	169	55	H21.6.17	男
中堅	井 上 葵	5	140	42	H22.7.27	男	中堅	平 下 步 夢	5	154	74	H22.9.18	男
次鋒	瀬 古 恋 奈	5	152	40	H22.8.23	女	次鋒	安 田 幸 平	5	148	46	H22.9.19	男
先鋒	山 科 龍 吾	4	145	45	H23.5.22	男	先鋒	後 藤 慶 樹	4	138	40	H23.6.16	男

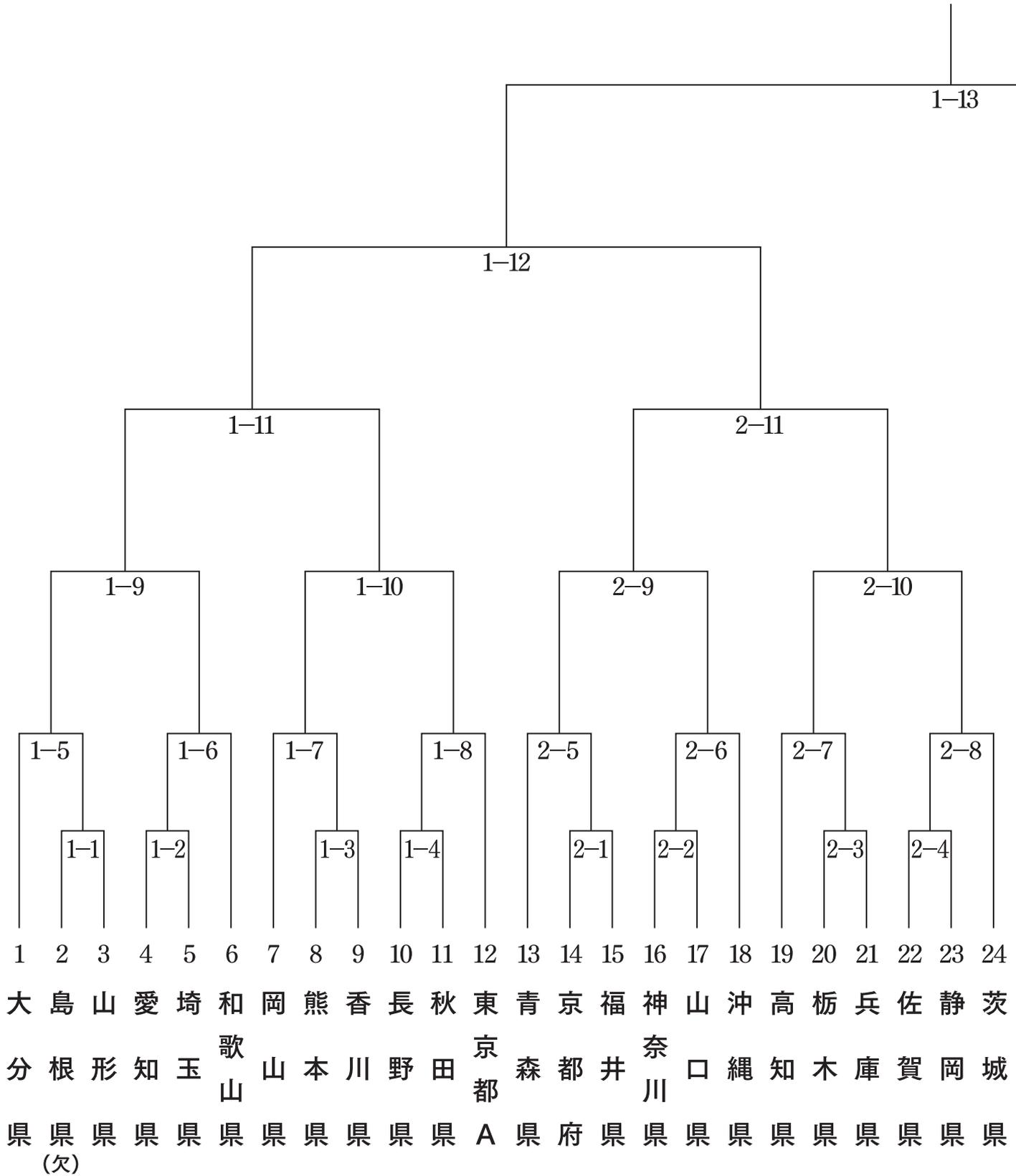
滋 賀 県								京 都 府							
															
監 督 前 田 剛 伸								監 督 山 本 俊 広							
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	大 橋 健 人	6	154	67	H21.4.21	男	大将	田 村 和 広	6	156	70	H21.8.26	男		
副将	八 木 唯之介	6	157	60	H21.8.17	男	副将	戸 川 武	6	155	44	H21.10.17	男		
中堅	小 椎 尾 和 亘	5	155	55	H22.5.17	男	中堅	田 村 晃 市	5	140	43	H22.9.16	男		
次鋒	北 村 透 真	5	152	46	H22.7.20	男	次鋒	竹 内 万 宰	5	145	37	H23.2.11	男		
先鋒	北 村 隼 人	4	140	38	H24.2.27	男	先鋒	三 井 雅 瑛	4	147	60	H23.9.1	男		
奈 良 県								和 歌 山 県							
															
監 督 石 津 佳 和								監 督 荒 井 伸 幸							
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	渡 辺 奏 音	6	159	71	H22.1.23	男	大将	尾 崎 颯 代	6	148	49	H21.10.6	女		
副将	藤 中 元 気	6	162	64	H21.5.1	男	副将	柴 本 修之介	6	148	44	H22.2.1	男		
中堅	井 上 勇 希	5	157	75	H22.9.30	男	中堅	藪 中 菜乃華	5	153	47	H22.4.7	女		
次鋒	山 川 乃々夏	5	149	46	H22.6.21	女	次鋒	西 川 重太朗	5	145	46	H22.4.5	男		
先鋒	下 山 翔 也	4	145	40	H23.7.4	男	先鋒	丸 山 友士朗	4	146	60	H23.4.17	男		
兵 庫 県								大 阪 府							
															
監 督 川 野 浩 司								監 督 山 口 真 一							
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	寺 田 瑞 希	6	157	80	H21.6.2	男	大将	丹 羽 拓 大	6	168	88	H21.7.27	男		
副将	大 野 凱 吏	6	167	77	H21.4.10	男	副将	尾 坐 原 泰 斗	6	165	84	H21.7.29	男		
中堅	小 川 裕 雅	5	140	35	H22.9.2	男	中堅	齋 藤 孝 仁	5	156	59	H22.9.4	男		
次鋒	岡 本 佳 久	5	134	34	H22.9.18	男	次鋒	田 中 大 斗	5	139	48	H22.4.9	男		
先鋒	大 野 佑 心	4	155	53	H23.4.7	男	先鋒	上 川 央 至 郎	4	142	50	H23.5.7	男		

岡山県							鳥取県						
													
監督 牧野 貴仁							監督 堀人 裕之						
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	徳山 優貴	6	171	80	H21.4.23	男	大将	大橋 伊吹	6	160	70	H21.11.8	男
副将	山口 凌次郎	6	155	80	H21.4.19	男	副将	加藤 泰輔	6	142	40	H21.5.30	男
中堅	鏡山 丈翔	5	145	64	H22.8.24	男	中堅	伊藤 幸絆	5	152	68	H23.1.1	男
次鋒	村上 希桜丸	5	145	50	H22.4.21	男	次鋒	豊田 蓮月	5	163	52	H22.9.18	男
先鋒	藤井 太一	4	144	65	H23.7.31	男	先鋒	福井 音翔也	4	139	44	H23.6.12	男
山口県							香川県						
													
監督 山口 剛志							監督 富岡 利仁						
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	武田 桃佳	6	146	55	H22.3.16	女	大将	樋笠 泰志	6	162	79	H21.5.28	男
副将	竹下 快成	6	151	45	H21.5.14	男	副将	長谷川 優太	6	155	54	H21.5.1	男
中堅	栗原 龍峨	5	152	53	H22.4.16	男	中堅	森田 明香理	5	148	47	H22.4.6	女
次鋒	霜山 薙由楽	5	144	45	H22.8.18	女	次鋒	磯野 瑠希矢	5	144	43	H22.5.13	男
先鋒	和泉 晶也	4	141	51	H23.5.25	男	先鋒	山田 大雅	4	140	42	H23.5.7	男
愛媛県							徳島県						
													
監督 沖 秀和							監督 堀 敏夫						
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別
大将	綱島 康翔	6	173	68	H21.5.29	男	大将	近藤 わかば	6	151	43	H21.10.28	女
副将	重松 頼偉斗	6	155	64	H21.6.5	男	副将	岩朝 隼人	6	143	36	H21.6.12	男
中堅	笠松 功太郎	5	153	64	H22.12.16	男	中堅	吉岡 虎太郎	5	150	66	H22.11.17	男
次鋒	若谷 夏樹	5	137	49	H22.8.10	男	次鋒	三井 快晟	5	155	57	H22.6.28	男
先鋒	早坂 颯泰	4	131	54	H23.5.7	男	先鋒	三浦 大和	4	140	40	H23.6.22	男

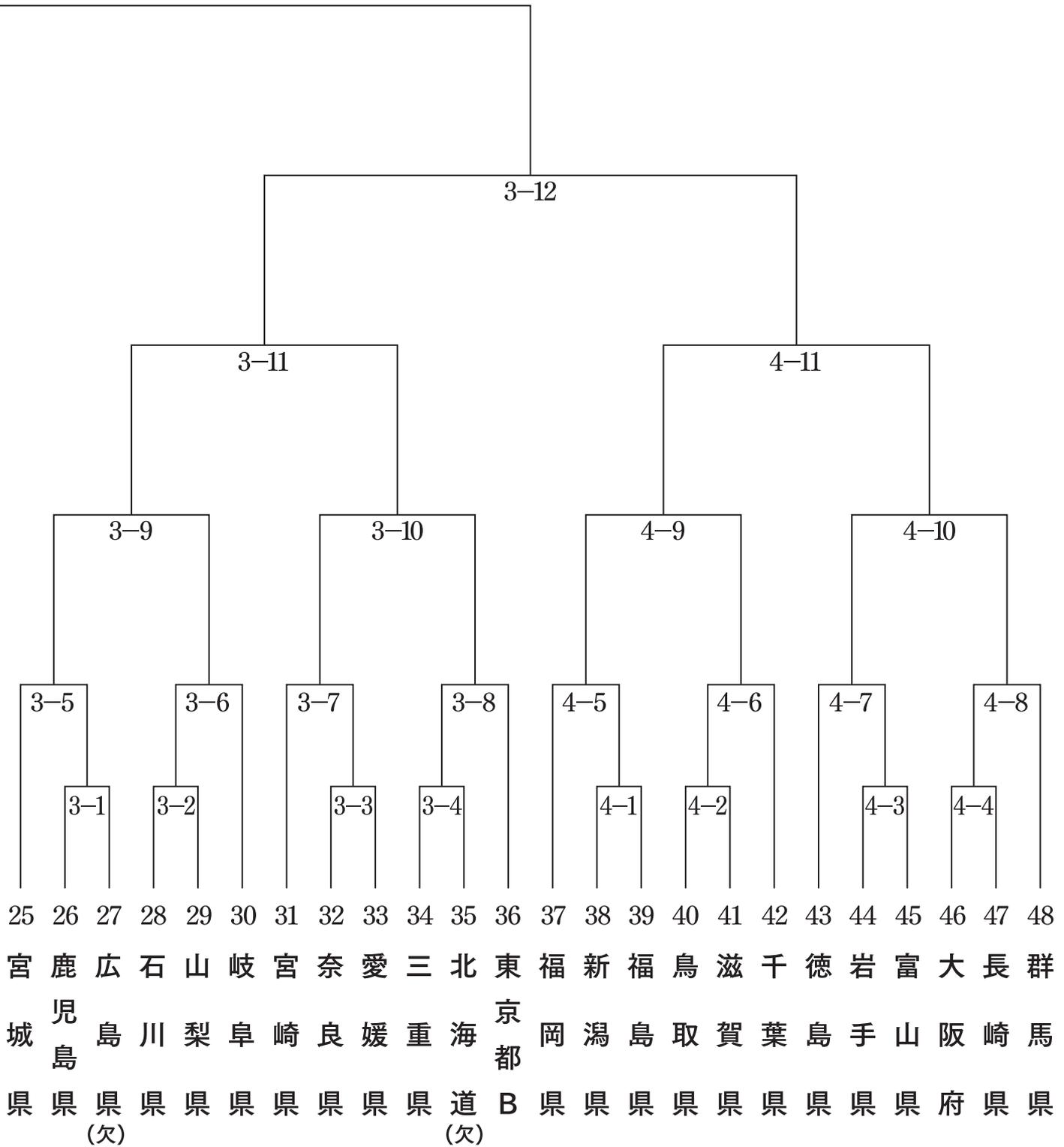
高知県								福岡県							
															
監督 中山 泰雄								監督 坪根 昭彦							
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別			氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別	
大将	濱田 来夢	6	160	100	H21.6.6	男	大将	松尾 宗睦	6	163	61	H21.9.4	男		
副将	岡林 大翔	6	149	65	H21.12.16	男	副将	後藤 流星	6	149	43	H21.7.8	男		
中堅	久禮田 圭太	5	151	85	H22.5.28	男	中堅	吉田 朱里	5	145	57	H22.7.8	女		
次鋒	中川 清成	5	153	48	H22.7.22	男	次鋒	小池 英太	5	130	27	H22.7.24	男		
先鋒	新谷 虎春	4	134	44	H24.3.27	男	先鋒	松尾 和起	4	133	32	H23.11.9	男		
大分県								佐賀県							
															
監督 重石 雄大								監督 古澤 均							
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別			氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別	
大将	河津 未力	6	153	85	H22.1.5	男	大将	大島 寛太	6	155	43	H21.12.22	男		
副将	安部 未飛	6	154	69	H21.5.19	男	副将	井上 星太	5	147	60	H22.7.13	男		
中堅	吉良 幸哉	5	158	61	H22.6.1	男	中堅	高口 尊至	5	140	40	H23.3.10	男		
次鋒	児玉 直人	5	148	63	H22.6.7	男	次鋒	中島 遼介	5	140	37	H22.11.11	男		
先鋒	橋迫 心平	4	145	52	H23.4.15	男	先鋒	西澤 孝太郎	4	138	38	H23.6.8	男		
長崎県								熊本県							
															
監督 平田 紀典								監督 立石 勝也							
	氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別			氏名	学年	身長	体重	生年月日	性別	
大将	眞弓 紀慶	6	153	70	H21.10.1	男	大将	大島 龍騎	6	162	92	H21.9.8	男		
副将	川村 多運	6	139	33	H21.11.18	男	副将	堀田 芯	6	162	78	H21.4.19	男		
中堅	草野 慧	5	137	45	H22.6.11	男	中堅	米津 羽琉	5	157	75	H22.6.4	男		
次鋒	山口 裕剛	5	147	38	H23.2.4	男	次鋒	田中 連太郎	5	156	47	H22.5.27	男		
先鋒	荒木 悠利	4	144	55	H23.5.12	男	先鋒	清村 獅道	4	141	53	H23.8.14	男		

宮 崎 県								鹿 児 島 県							
															
監 督 坂 本 慎 吾								監 督 中 浩 一							
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別		
大将	首 藤 吉 慶	6	161	85	H22.2.17	男	大将	山 田 葵	6	140	37	H21.11.13	女		
副将	小 田 将之介	6	158	58	H21.9.8	男	副将	長 瀬 優 空	5	140	35	H22.6.28	男		
中堅	三 浦 鳳 雅	5	160	110	H22.5.10	男	中堅	白 山 明 治	5	143	35	H22.11.16	男		
次鋒	小 野 亮	5	156	88	H22.4.28	男	次鋒	村 山 志 那	5	142	30	H22.8.13	男		
先鋒	佐 藤 大 峨	4	144	39	H23.7.14	男	先鋒	中 馬 潤 也	4	142	45	H23.8.19	男		
沖 縄 県															
															
監 督 泰 川 雅 典															
	氏 名	学年	身長	体重	生年月日	性別									
大将	平 良 健 成	6	170	95	H21.6.9	男									
副将	真 栄 城 弓 吏	6	164	70	H21.11.23	男									
中堅	名 嘉 美 理 逢	5	158	58	H22.12.21	女									
次鋒	泰 川 步 和	5	160	50	H22.9.15	女									
先鋒	玉 城 充 銀	4	142	57	H23.9.6	男									

第30回日整全国少年柔道



大会トーナメント表



文部科学大臣杯争奪

第11回日整全国少年柔道形競技会実施要項

- 1.日 時** 令和3年11月21日（日） 午後1時30分開場
午後2時35分試合開始
- 2.会 場** 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館大道場（7階）
電 話 03-3818-4171
- 3.趣 旨** 嘉納治五郎師範は柔道稽古方法を「形」と「乱取」の二種に分類し、「形」は攻撃防禦に関しあらかじめ種々の場合を定め、理論に基づき身体の動きを規定し、その規定のごとく稽古すると教え、「乱取」とは一定の方法に抛らず、各自、勝手の手段を用いて稽古することであると教えられた。「投の形」は講道館柔道草創期の時代を背景として制定された古典である。少年少女柔道は試合優先主義、勝負一辺倒から技の理合いの原点を正しく理解、体得させることが極めて重要である。柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、参加者相互の親睦並びに、柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に寄与することを目的とする。
- 4.主 催** 公益社団法人日本柔道整復師会
〒110-0007 東京都台東区上野公園16-9
電 話 03-3821-3511 F A X 03-3822-2475
<http://www.shadan-nissei.or.jp/>
- 5.後 援** スポーツ庁、厚生労働省、東京都、公益財団法人講道館、
公益財団法人全日本柔道連盟、公益財団法人東京都柔道連盟、産経新聞社
- 6.協 賛** 公益社団法人全国柔道整復学校協会、公益財団法人柔道整復研修試験財団、
一般社団法人日本柔道整復接骨医学会、日本柔道整復師協同組合
- 7.参加資格** 各地区（柔道ブロック）より予選を経て、計30チーム出場。
（監督と出場選手は、全日本柔道連盟登録済みであること。）

地 区	都道府県	出場チーム数
北 海 道	北海道	2
東 北	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	3
北 関 東	栃木・群馬	2
中 関 東	茨城・埼玉・山梨	2
南 関 東	千葉・神奈川	2
東 京	東京	2
北信越東部	新潟・長野	1
北信越西部	富山・石川・福井	2
東 海 東 部	静岡・愛知	3
東 海 西 部	三重・岐阜	
近 畿	滋賀・京都・奈良・和歌山・兵庫	3
大 阪	大阪	3
中 国	岡山・鳥取・島根・広島・山口	1
四 国	香川・愛媛・徳島・高知	1
九 州	福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄	3

※同一都道府県複数チーム出場の場合のチーム名の例：大阪A、大阪B、大阪C

- 8.選手団 (1)構成 監督1名 (日整会員に限らない)、選手2名
 (2)選手選考方法 各地区で選出する。
 (3)選手内容 小学生(4年生以上)
 (4)国籍、男女を問わない、年齢適齢であること。
 (5)コロナ禍対策で、選手変更受付期限は11/18(木)正午までとする。選手変更する場合は、変更受付期限までに、日整あて「変更届」および「承認書」ご提出のこと。

日整メールアドレス jigyo@shadan-nissei.or.jp
 日整FAX 03-3822-2475

9.競技種目
 10.競技方法

- 投の形(手技・腰技・足技のみ)計9本
 (1)「講道館柔道形競技規定」により行う。
 ただし、予選は下記のとおり行う。
 ①出場チームをA・B・C・Dの4ブロックに分ける。
 ②各ブロック上位1チーム(計4チーム)が決勝進出。
 ③予選の審査員は各2名。
 ④予選の得点は決勝に継承しない。
 (2)その他、不測の事態が生じた場合の処置は、審査員長に一任する。

11.会議
 12.表彰

- 監督会議は大会当日行う。
 (1)優勝チームには文部科学大臣杯並びに優勝者には文部科学大臣賞状を授与し、前年度優勝チームには文部科学大臣杯レプリカを授与する。
 (2)優勝・準優勝・第三位、第四位を表彰する。
 (3)出場チーム全員に参加賞を授与する。
 (4)入賞1チーム(原則、優勝チーム)は次年度5月5日開催の全国少年柔道大会において、形を演武する。(選手団の交通費および傷害保険は日整負担とする。)

13.審査員
 14.申し込み

- 審査員は、講道館指導部に依頼する。
 (1)申し込みは所定の書類により日本柔道整復師会宛に申し込むこと。
 (2)出場申込書には、所属都道府県柔道整復師会会長の承認印を必要とする。
 (3)参加選手は、保護者の参加承認書を申し込み時に必ず提出のこと。なお、保護者は参加選手の大会出場にあたり、事前に医師の健康診断を受けさせ、異常(競技会の出場に支障)がないことを確認しておくこと。
 (4)各チームの集合写真を申し込み時に提出のこと。(18.集合写真参照)
 (5)申し込み締切日は8月末日必着とする。(申込書はエクセルファイル、原本どちらも必要)

※申込書 Excel ファイルのデータ提出:jigyo@shadan-nissei.or.jp (日本柔道整復師会 事業部宛)

15.交通費

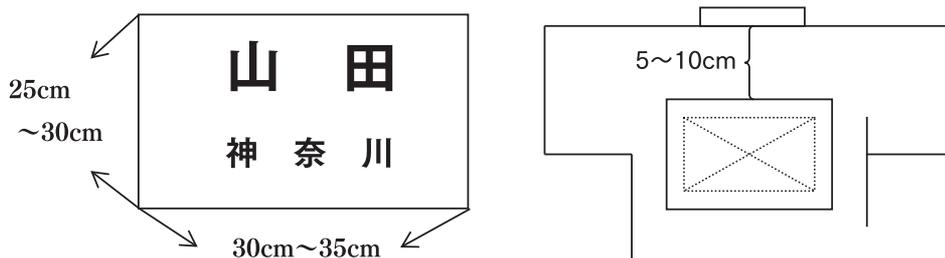
選手団の交通費は、各都道府県社団所在地の最寄JR駅より東京都区内までの往復普通運賃および特急料金を主催者負担とする。ただし、北海道、四国、九州の各県は往復航空料金とする。

16.宿泊

- (1)宿泊費は各都道府県チームの負担とする。
 (2)宿泊は要請があれば主催者側で宿泊所を紹介する。

17.ゼッケン

出場選手は、必ずゼッケンを縫い付けた柔道衣を着用のこと。

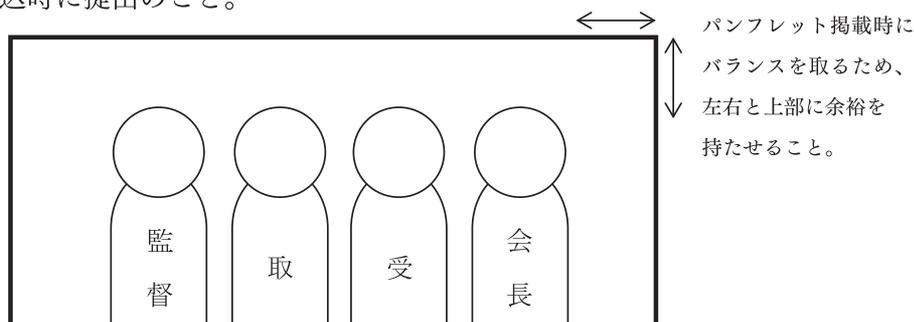


※南関東地区の神奈川県チームの場合

- (1) 布地は白地(晒・太綾)で書体は太いゴシックまたは明朝体とし、男子は黒字、女子は濃赤字。
- (2) サイズは縦 25 ～ 30 cm、横 30 ～ 35cm。
- (3) 苗字(姓)は上側 2/3、所属の都道府県名は下側 1/3。
- (4) 縫い付けの場所は後ろ襟から 5 ～ 10 cm、対角線にも強い糸で縫い付けること。

18. 集合写真

申込時に提出のこと。



- (1) 選手は柔道着を着用。
- (2) 並びは左から 監督、取、受、出場選手所属の都道府県会長の順。
- (3) 立位、胸から上を撮影。
- (4) 3MB 以上の JPG データで提出のこと。

19. 特記事項

- (1) 本大会では「脳震盪対応について」平成 24 年 4 月 1 日付け全日本柔道連盟通達(別添参照)を適用する。
なお、大会当日、「選手規程に関わる報告書(脳震盪対応について)」を提出のこと。
- (2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

20. その他

- (1) 参加者全員の傷害保険は主催者負担とする。
- (2) 競技会当日は健康保険証を持参すること。(写でも可)
- (3) 負傷した者は直ちに大会救護係へ報告し、大会顧問医の診察を受け報告書を提出すること。
- (4) 当日大会で負傷して、やむを得ず病院等に搬送した場合、初診時費用は主催者の日本柔道整復師会負担とする。この報告書の提出なき者は、すべて自己負担とする。大会終了後は受け付けない。
- (5) 出場者は、所管の教育委員会または在学校長等の承認および許可が必要となるところもあるので、遺漏のないようにすること。
- (6) 審判員および委員係員など当会業務として本大会に招聘された者は、本会規定に基づく役員に準ずる者(本会が役員に準ずる者として招聘した者)としての鉄道賃の額を支給する。

21. 個人情報、肖像権の取り扱いについて

参加申込用紙に記載された個人情報は、参加申込用紙の提出により、下記取り扱いについての承諾をしたものとする。

- (1) 大会中に撮影された写真、動画が大会プログラム、大会ホームページ等に掲載される場合や柔道の普及活動に使用される場合がある。
- (2) 報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
- (3) 提出された個人情報については、上記目的以外に使用しない。

第11回日整全国少年柔道形競技会 競技順 予 選

Aブロック 第1試合場

順序	チーム	得点
1	兵庫県	
2	京都府	
3	三重県	
4	東京都 B	
5	富山県	
6	神奈川県	
7		

Bブロック 第2試合場

順序	チーム	得点
1	福井県	
2	大阪府	
3	香川県	
4	東京都 A	
5	愛知県	
6	静岡県	
7	山梨県	

Cブロック 第3試合場

順序	チーム	得点
1	青森県	
2	茨城県	
3	熊本県	
4	山形県	
5	千葉県	
6	鹿児島県	
7		

Dブロック 第4試合場

順序	チーム	得点
1	栃木県	
2	群馬県	
3	奈良県	
4	岡山県	
5	岩手県	
6	新潟県	
7		

決 勝

第1試合場

順序	チーム	得点
1		
2		
3		
4		

第11回日整全国少年柔道形競技会 出場者一覧

青 森 県					岩 手 県				
									
監 督 高 谷 明					監 督 佐 藤 智 己				
	氏 名	学年	生年月日	性別		氏 名	学年	生年月日	性別
取 受	高 谷 凜	5	H22.6.15	女	取 受	安 達 悠 太	5	H22.9.26	男
	清 野 秀 斗	5	H23.1.4	男		菅 野 翔 太	5	H23.1.8	男
山 形 県					茨 城 県				
									
監 督 和 田 一 則					監 督 芝 山 勝 典				
	氏 名	学年	生年月日	性別		氏 名	学年	生年月日	性別
取 受	熊 谷 董	6	H21.4.16	女	取 受	岩 崎 羽 奏	5	H22.12.14	女
	阿 部 陽 菜	6	H21.9.28	女		野 澤 心 陽	5	H22.8.21	女
栃 木 県					群 馬 県				
									
監 督 吉 澤 賢 二					監 督 本 多 重 雄				
	氏 名	学年	生年月日	性別		氏 名	学年	生年月日	性別
取 受	竹 本 明日真	6	H21.11.18	男	取 受	高 橋 瑛 士	6	H22.2.12	男
	手 塚 杏	5	H23.3.23	女		前 間 麻 椰	5	H22.8.18	女
千 葉 県					神 奈 川 県				
									
監 督 岡 野 高 義					監 督 宮 本 隆 弘				
	氏 名	学年	生年月日	性別		氏 名	学年	生年月日	性別
取 受	稲 垣 湊	5	H22.5.24	男	取 受	松 尾 海 音	5	平22.9.7	女
	佐々木 涼 名	5	H22.6.5	女		杉 山 溜 和	4	平24.1.5	男

山梨県					東京都A				
									
監督 渡邊洋平					監督 下山陽邦				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	岡あやの	6	H21.6.2	女	取受	石川まひる	5	H22.9.1	女
	渡辺 柊成	5	H23.3.1	男		岡本 悠里	4	H23.4.16	女
東京都B					新潟県				
									
監督 向井一浩					監督 長澤美希				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	向井 尊士	4	H23.8.1	男	取受	若林 久玲愛	6	H21.7.8	女
	向井 敬士	6	H21.6.30	男		古市 晴香	6	H22.1.18	女
富山県					福井県				
									
監督 岡本賢治					監督 長田康秀				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	中村 尋登	6	H22.2.18	男	取受	白崎 巴琉	5	H22.5.27	男
	谷井 寿弥	6	H21.5.19	男		高江 結菜	5	H22.8.4	女
静岡県					愛知県				
									
監督 渡部成也					監督 月野義明				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	渡部 龍ノ臣	5	H22.8.6	男	取受	松本 匠平	5	H22.12.22	男
	蓮池 優斗	5	H22.5.3	男		久綱 眺生	5	H23.3.3	男

三重県					京都府				
									
監督 伊藤 孝彦					監督 兼田 旭紘				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	橋川 裕来	6	H22.3.4	男	取受	藤井 健人	5	H22.7.20	男
	坂井 和真	6	H21.12.24	男		橋本 千慧	6	H21.7.14	男
奈良県					兵庫県				
									
監督 南 埜 千賀					監督 巖 俊樹				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	田 和 杏 紗	4	H23.7.9	女	取受	瀬 良 兼 三	5	H22.4.13	男
	大 谷 知 鶴	4	H23.8.11	女		中 原 琉 衣	5	H22.5.20	男
大阪府					岡山県				
									
監督 有川 勇貴					監督 藤原 靖真				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	柳 田 天 琉	4	H23.12.20	女	取受	小 西 怜 菜	5	H23.4.1	女
	三 谷 基 一 路	5	H22.4.14	男		坂 井 明 莉	5	H22.6.1	女
香川県					熊本県				
									
監督 河 邊 法 隆					監督 境 憲 泰				
	氏名	学年	生年月日	性別		氏名	学年	生年月日	性別
取受	森 田 明 香 理	5	H22.4.6	女	取受	上 田 琉 聖	5	H22.7.14	男
	山 下 竜 生	5	H22.9.1	男		荒 木 康 誠	5	H22.4.17	男

鹿児島県



監督 米倉 優一

	氏名	学年	生年月日	性別
取	山田 葵	6	H21.11.13	女
受	村山 志那	5	H22.8.13	男

日整全国少年柔道大会 栄光の記録

回	年月日／会場	優 勝	準 優 勝	第 3 位	第 3 位
第1回	H. 4.10. 4 講道館	東 北	東 海 西 部	近 畿	中 関 東
第2回	H. 5.10. 3 講道館	近 畿	大 阪	北 海 道	北 信 越 西 部
第3回	H. 6.10. 2 講道館	北 信 越 西 部	中 関 東	大 阪	東 京 A
第4回	H. 7.10.15 講道館	大 阪	北 信 越 西 部	北 海 道	北 信 越 東 部
第5回	H. 8.10. 6 講道館	北 信 越 西 部	北 海 道	南 関 東	九 州
第6回	H. 9.10.12 講道館	羽島柔道少年団 (岐阜県)	三国町柔道教室 (福井県)	岡山錬成会 (岡山県)	北富士柔道スポーツ少年団 (山梨県)
第7回	H.10.10.11 講道館	東福岡柔道教室 (福岡県)	羽島柔道少年団 (岐阜県)	相武館吉田道場 (神奈川県)	共栄塾中田道場 (富山県)
第8回	H.11.10.11 講道館	黒崎町柔道連盟 (新潟県)	一道館田代道場 (東京A)	東福岡道場教室 (福岡県)	大石道場 (愛知県)
第9回	H.12.10. 9 講道館	五條五大館道場 (奈良県)	朝飛道場 (神奈川県)	正導館米田道場 (大阪府)	黒崎町柔道連盟 (新潟県)
第10回	H.13.10. 8 講道館	愛 知 県	北 海 道	三 重 県	奈 良 県
第11回	H.14.10.14 講道館	福 岡 県	長 野 県	神 奈 川 県	千 葉 県
第12回	H.15.10.13 講道館	岐 阜 県	愛 知 県	兵 庫 県	和 歌 山 県
第13回	H.16.10.11 講道館	愛 知 県	奈 良 県	熊 本 県	宮 崎 県
第14回	H.17.10.10 講道館	兵 庫 県	広 島 県	神 奈 川 県	千 葉 県
第15回	H.18.10. 9 講道館	奈 良 県	福 井 県	兵 庫 県	徳 島 県
第16回	H.19.10. 8 講道館	宮 崎 県	大 阪 府	広 島 県	福 岡 県
第17回	H.20.10.13 講道館	神 奈 川 県	北 海 道	兵 庫 県	青 森 県
第18回	H.21.10.12 講道館	兵 庫 県	愛 知 県	神 奈 川 県	広 島 県
第19回	H.22.10.11 講道館	神 奈 川 県	奈 良 県	東 京 A	徳 島 県
第20回	H.23.10.10 講道館	神 奈 川 県	茨 城 県	三 重 県	東 京 A
第21回	H.24.10. 8 講道館	茨 城 県	神 奈 川 県	京 都 府	大 阪 府
第22回	H.25.10.14 講道館	茨 城 県	愛 知 県	岐 阜 県	富 山 県
第23回	H.26.10.13 講道館	青 森 県	山 口 県	広 島 県	愛 知 県
第24回	H.27.10.12 講道館	千 葉 県	広 島 県	神 奈 川 県	兵 庫 県
第25回	H.28.10. 9 講道館	千 葉 県	茨 城 県	東 京 A	大 阪 府
第26回	H.29.10. 8 講道館	愛 知 県	岐 阜 県	静 岡 県	熊 本 県
第27回	H.30.10.7 講道館	兵 庫 県	神 奈 川 県	愛 媛 県	秋 田 県
第28回	R. 1.10.14 講道館	台風の影響のため中止			
第29回	R. 2.11.22 講道館	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
第30回	R. 3.11.21 講道館				

日整全国柔道大会 栄光の記録

回	年月日／会 場	優 勝	準優勝	第三位	第三位
第 1 回	S. 30. 2. 20 講 道 館	(青年の部)			北 関 東
		関本 進(茨 城)	古関光正(宮 城)	川口良男(神奈川)	
		(壮年前期の部)			
		高嶋道夫(富 山)	伊勢茂一(兵 庫)	二瓶英雄(北海道)	
		(壮年後期の部)			
		田代文衛(愛 知)	萩原広雄(兵 庫)	本部正雄(東 京)	
第 2 回	S. 53. 10. 28 講 道 館	南 関 東	北 信 越 西 部	四 国	北 関 東
第 3 回	S. 54. 9. 1 京 都 旧 武 德 殿	北 信 越 西 部	東 北	南 関 東	東 海 西 部
第 4 回	S. 55. 8. 30 講 道 館	東 海 東 部	東 北	北 信 越 西 部	西 東 京
第 5 回	S. 56. 10. 24 横 浜 文 化 体 育 館	九 州	大 阪	南 関 東	北 関 東
第 6 回	S. 57. 9. 18 愛 知 県 ス ポ ー ツ 会 館	東 京	九 州	東 北	東 海 東 部
第 7 回	S. 58. 11. 5 神 戸 市 立 中 央 体 育 館	東 北	東 京	北 信 越 西 部	九 州
第 8 回	S. 59. 10. 27 講 道 館	東 北	東 京	北 関 東	東 海 東 部
第 9 回	S. 60. 10. 26 新 潟 市 鳥 屋 野 総 合 体 育 館 武 道 場	東 北	北 海 道	南 関 東	東 京
第10回	S. 61. 10. 25 千 葉 県 武 道 館	東 北	東 京	北 関 東	東 海 東 部
第11回	S. 62. 10. 24 大 阪 市 立 修 道 館	東 海 東 部	東 京	東 北	九 州
第12回	S. 63. 10. 22 宮 城 県 武 道 館	東 海 東 部	東 京	北 信 越 西 部	大 阪
第13回	H. 元. 10. 28 京 都 市 武 道 セ ン タ ー	近 畿	東 京	東 海 東 部	東 北
第14回	H. 2. 10. 27 埼 玉 県 立 武 道 館	東 海 東 部	南 関 東	中 関 東	東 海 西 部
第15回	H. 3. 10. 26 岡 山 県 立 武 道 館	東 海 東 部	北 信 越 西 部	近 畿	東 北
(通算16回) 第 1 回	H. 4. 10. 4 講 道 館	北 海 道	東 北	九 州	/
(通算17回) 第 2 回	H. 5. 10. 3 講 道 館	東 北	東 海 東 部	東 京	/
(通算18回) 第 3 回	H. 6. 10. 2 講 道 館	東 海 東 部	北 海 道	東 北	/
第19回	H. 7. 10. 15 講 道 館	東 海 東 部	東 京	九 州	北 海 道
第20回	H. 8. 10. 6 講 道 館	東 海 東 部	東 京	南 関 東	九 州
第21回	H. 9. 10. 12 講 道 館	東 京	南 関 東	東 海 東 部	北 信 越 西 部
第22回	H. 10. 10. 11 講 道 館	東 京	北 信 越 西 部	北 関 東	南 関 東
第23回	H. 11. 10. 11 講 道 館	東 京	東 海 東 部	北 信 越 西 部	東 北
第24回	H. 12. 10. 9 講 道 館	東 京	北 信 越 西 部	中 関 東	北 信 越 東 部
第25回	H. 13. 10. 8 講 道 館	東 京	中 関 東	近 畿	北 関 東
第26回	H. 14. 10. 14 講 道 館	東 京	東 海 東 部	大 阪	九 州
第27回	H. 15. 10. 13 講 道 館	大 阪	中 関 東	中 国	九 州
第28回	H. 16. 10. 11 講 道 館	北 信 越 西 部	九 州	東 北	北 関 東

回	年月日／会 場	優 勝	準優勝	第三位	第三位
第29回	H.17.10.10 講 道 館	九 州	中 国	北信越西部B	北信越西部A
第30回	H.18.10.9 講 道 館	大 阪	東 京	北信越西部	九 州 A
第31回	H.19.10.8 講 道 館	東 京	北信越東部	大 阪 A	中 国
第32回	H.20.10.13 講 道 館	東 京 A	九 州	大 阪	北信越西部
第33回	H.21.10.12 講 道 館	東 京 A	南 関 東	北信越西部	東 京 B
第34回	H.22.10.11 講 道 館	北信越西部	東 京 A	北信越東部	南 関 東
第35回	H.23.10.10 講 道 館	東 京	北信越西部A	東 海 東 部	大 阪
第36回	H.24.10.8 講 道 館	北信越西部	東 海 東 部	東 京 A	東 京 B
第37回	H.25.10.14 講 道 館	近 畿	東 京	北信越西部B	北信越西部A
第38回	H.26.10.13 講 道 館	南 関 東	北信越西部	中 関 東	北 海 道
第39回	H.27.10.12 講 道 館	東 京	近 畿	北信越西部	南 関 東 B
第40回	H.28.10.9 講 道 館	南 関 東	北信越西部	北 関 東	中 関 東
第41回	H.29.10.8 講 道 館	南 関 東 B	近 畿	東 海 東 部	九 州
第42回	H.30.10.7 講 道 館	近 畿	北信越西部	東 北	北 関 東
第43回	R.1.10.14 講 道 館	台風の影響のため中止			
第44回	R.2.11.22 講 道 館	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
第45回	R.3.11.21 講 道 館	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			

日整全国少年柔道形競技会 栄光の記録

回	年月日／会 場	第1位	第2位	第3位	第4位
第1回	H.23.10.10 講 道 館	宮 崎 県	神 奈 川 県	東 京 都	岡 山 県
第2回	H.24.10.8 講 道 館	愛 知 県	香 川 県	三 重 県	岡 山 県
第3回	H.25.10.14 講 道 館	東 京 都	岡 山 県	福 井 県	三 重 県
第4回	H.26.10.13 講 道 館	東 京 A	青 森 A	兵 庫 県	岐 阜 県
第5回	H.27.10.12 講 道 館	愛 知 県	香 川 県	北 海 道 A	静 岡 県
第6回	H.28.10.9 講 道 館	岐 阜 県	愛 知 県	神 奈 川 県	大 阪 府
第7回	H.29.10.8 講 道 館	青 森 県	北 海 道 A	岡 山 県	三 重 県
第8回	H.30.10.7 講 道 館	兵 庫 県	青 森 県	神 奈 川 県	北 海 道 B
第9回	R.1.10.14 講 道 館	台風の影響のため中止			
第10回	R.2.11.22 講 道 館	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
第11回	R.3.11.21 講 道 館				

日整全国柔道大会「形」演武者

(敬称略・順不同)

回	年月日	会場	演 技 者			所 属
第1回	S. 30. 2. 20	講 道 館	(投 の 形)	(取) 蔦谷 正雄	(受) 高野 甚平	(東京都)
			(偽我流表形)	(捕) 伊東 清治	(受) 関口 敏雄	(東京都)
			(無想流之形)	井上清三郎	谷本 一一	(香川県)
			(香取神道流居合術)		杉野 嘉男	(神奈川県)
			(双水執流柔術腰廻之形)		佐藤昇一郎	(東京都)
			(警視流拳法之形)	(捕) 東城福三郎	(受) 鈴木 鏢	(東京都)
			(真蔭流柔術之形)	(捕) 三上賢治郎	(受) 瀧沢常三郎	(東京都)
			(天神真揚流柔術之形)	(捕) 関根 源内	(受) 関根 英男	(東京都)
			(天神真揚流柔術之形)		(捕) 宮本 半蔵 (受) 岩佐 之	(東京都) (宮城県)
			(極 の 形)	(取) 前田 武郷	(受) 仙波 忠雄	(東京都)
			(古式の形)	(取) 黒須 春次	(受) 藤田 政信	(東京都)
第2回	S. 53. 10. 28	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段 渋谷 正久	(受) 五段 須藤 安通	(東京都)
			(古式の形)	(取) 八段 大沢貫一郎	(受) 七段 三浦 六郎	(東京都)
第3回	S. 54. 9. 1	京都旧武徳殿	(投 の 形)	(取) 六段 大槻 榊美	(受) 五段 三宅 博道	(京都府)
			(古式の形)	(取) 八段 中村治一郎	(受) 八段 廣谷 正己	(京都府)
第4回	S. 55. 8. 30	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段 六郷 浩庸	(受) 五段 岩崎 律義	(愛知県)
			(極 の 形)	(取) 八段 渡辺利一郎	(受) 五段 鈴木 健一	(神奈川県)
第5回	S. 56. 10. 24	横 浜 文 化 体 育 館	(投 の 形)	(取) 四段 林 紀博	(受) 四段 山下三樹夫	(北海道)
			(古式の形)	(取) 八段 島谷 一美	(受) 六段 鈴木 荘士	(宮城県)
第6回	S. 57. 9. 18	愛 知 県 ス ポ ー ツ 会 館	(投 の 形)	(取) 七段 加藤 亨	(受) 七段 武原 利雄	(大分県)
			(古式の形)	(取) 八段 小島 吉雄	(受) 六段 稲木 博	(福井県)
第7回	S. 58. 11. 5	神 戸 市 立 中 央 体 育 館	(投 の 形)	(取) 五段 湯浅 光範	(受) 五段 石岡 順三	(広島県)
			(古式の形)	(取) 八段 湊 庄市	(受) 八段 原田 岩雄	(徳島県)
第8回	S. 59. 10. 27	講 道 館	(極 の 形)	(取) 六段 高木 志行	(受) 六段 長ヶ部孔司	(東京都)
			(古式の形)	(取) 八段 伊藤 秋夫	(受) 八段 三浦 六郎	(東京都)
第9回	S. 60. 10. 26	新潟市鳥谷野総 合体育館武道場	(投 の 形)	(取) 五段 伊東 祐男	(受) 五段 霜鳥 芳男	(新潟県)
			(古式の形)	(取) 七段 勝山 清一	(受) 八段 久保 照夫	(富山県)
第10回	S. 61. 10. 25	千 葉 武 道 館	(投 の 形)	(取) 八段 加藤 幸夫	(受) 六段 須賀 康明	(千葉県)
			(古式の形)	(取) 九段 鈴木 鳥松	(受) 七段 下野 努	(茨城県)
第11回	S. 62. 10. 24	大 阪 市 立 修 道 館	(極 の 形)	(取) 六段 岩田 勝	(受) 五段 松下 倫久	(大阪府)
			(古式の形)	(取) 八段 中井 秀雄	(受) 八段 廣谷 正己	(京都府)
第12回	S. 63. 10. 22	宮城県武道館	(投裏の形)	(取) 七段 工藤 兼雄	(受) 四段 工藤 克之	(秋田県)
			(古式の形)	(取) 九段 島谷 一美	(受) 七段 鈴木 壮士	(宮城県)
第13回	H. 元. 10. 28	京 都 市 武 道 セ ン タ ー	(五 の 形)	(取) 八段 中井 秀雄	(受) 八段 廣谷 正己	(京都府)
			(極 の 形)	(取) 七段 井上 彰二	(受) 六段 道家 勝昭	(京都府)
第14回	H. 2. 10. 27	埼 玉 県 立 武 道 館	(古式の形)	(取) 七段 中野 高男	(受) 六段 村田 次郎	(埼玉県)
			(極 の 形)	(取) 七段 石田金次郎	(受) 七段 會田 俊雄	(埼玉県)
第15回	H. 3. 10. 26	岡 山 武 道 館	(極 の 形)	(取) 八段 佐藤 克己	(受) 七段 坪井 昇	(岡山県)
			(起倒流)	(取) 七段 内野 幸重	(受) 五段 大谷 崇正	(岡山県)
第16回	H. 4. 10. 4	講 道 館	(極 の 形)	(取) 七段 都築 茂	(受) 七段 春日 邦人	(東京都)
			(天神真揚流・投捨の形)	(取) 免許 柴田 孝一 (受) 柴田 孝和		(東京都)
第17回	H. 5. 10. 3	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段 田中 一郎	(受) 五段 下地 秀和	(東京都)
			(五 の 形)	(取) 八段 鈴木 義彦	(受) 八段 新岡 正三	(東京都)
第18回	H. 6. 10. 2	講 道 館	(極 の 形)	(取) 六段 篠原 範昭	(受) 七段 長ヶ部孔司	(東京都)
			(柔 の 形)	(取) 六段 梅津 勝子	(受) 三段 川島 芳江	(東京都)
第19回	H. 7. 10. 15	講 道 館	(投 の 形)	(取) 七段 英 道生	(受) 六段 斉藤 英男	(神奈川県)
			(古式の形)	(取) 七段 中野 高男	(受) 七段 村田 次郎	(埼玉県)
第20回	H. 8. 10. 6	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段 吉田 正治	(受) 五段 相沢 克己	(千葉県)
			(古式の形)	(取) 八段 下野 努 (受) 七段 鈴木 荘士		(茨城県) (宮城県)
第21回	H. 9. 10. 12	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段 荻野 和重	(受) 五段 荻野 義之	(埼玉県)
			(古式の形)	(取) 七段 野村 喜好	(受) 六段 前原 幸治	(東京都)

回	年月日	会場	演 技 者				所 属	
第22回	H. 10. 10. 11	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段	大藤 忠昭	(受) 五段	田島 隆行	(群馬県)
			(古式の形)	(取) 七段	木下 尚光	(受) 五段	出雲 政夫	(栃木県)
第23回	H. 11. 10. 11	講 道 館	(投 の 形)	(投) 四段	小池 正人	(受) 三段	稲見 浩一	(大阪府)
			(起倒流之形)	(取形) 七段	井上 彰二	(請立) 五段	岡島 順	(京都府)
第24回	H. 12. 10. 9	講 道 館	(柔 の 形)			(取) 五段	横山 悦子	(福井県)
						(受) 四段	大森 千草	(長野県)
第25回	H. 13. 10. 8	講 道 館	(古式の形)	(取) 七段	林 岩男	(受) 六段	吉留 義幸	(鹿児島県)
			(柔 の 形)	(取) 四段	川島 芳江	(受) 三段	鶴岡 圭	(東京都)
第26回	H. 14. 10. 14	講 道 館	(五 の 形)	(取) 七段	松本 裕司	(受) 五段	竹田 昌司	(香川県)
			(投 の 形)	(取) 七段	室田 晴康	(受) 五段	葉名尻 任	(北海道)
第27回	H. 15. 10. 13	講 道 館	(講道館護身術)	(取) 六段	酒井 義之	(受) 六段	中村 寿一	(静岡県)
			(柔 の 形)	(取) 六段	大久保達朗	(受) 五段	重松 哲夫	(福岡県)
第28回	H. 16. 10. 11	講 道 館	(五 の 形)	(取) 六段	末永 明信	(受) 六段	神田 雅春	(富山県)
			(投 の 形)	(取) 六段	富田 康之	(受) 五段	前浜 忠成	(兵庫県)
第29回	H. 17. 10. 10	講 道 館	(古式の形)	(取) 七段	齋藤 尚道	(受) 六段	奈良岡英雄	(青森県)
			(投 の 形)	(取) 五段	渡邊 勇次	(受) 五段	篠田 善晴	(岐阜県)
第30回	H. 18. 10. 9	講 道 館	(固 の 形)	(取) 七段	山元 一孝	(受) 六段	奈須 開生	(宮崎県)
			(古式の形)	(取) 七段	原田 照夫	(受) 五段	小沢 昭夫	(埼玉県)
第31回	H. 19. 10. 8	講 道 館	(柔 の 形)	(取) 六段	伊福 義雄	(受) 五段	甲斐 浩二	(宮崎県)
			(極 の 形)	(取) 六段	榎本 好根	(受) 五段	春日井和幸	(愛知県)
第32回	H. 20. 10. 13	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段	内山 貴之	(受) 三段	松井 孝文	(長野県)
			(柔 の 形)	(取) 五段	相羽 秀昭	(受) 五段	森 正仁	(愛知県)
第33回	H. 21. 10. 12	講 道 館	(柔 の 形)	(取) 六段	榎本 好根	(受) 五段	春日井和幸	(愛知県)
			(固 の 形)	(取) 六段	真中 進	(受) 六段	一ツ柳 明	(茨城県)
第34回	H. 22. 10. 11	講 道 館	(講道館護身術)	(取) 六段	榎本 好根	(受) 六段	中村 太	(愛知県)
				(取) 五段	甲斐 浩二	(受) 六段	伊福 義雄	(宮崎県)
			(柔 の 形)	(取) 五段	荒井 薫	(受) 四段	大橋 智洋	(栃木県)
				(取) 六段	藤川 進	(受) 五段	櫻井 太郎	(群馬県)
第35回	H. 23. 10. 10	講 道 館	(五 の 形)	(取) 七段	測辺 吉博	(受) 六段	小澤 昭夫	(埼玉県)
			(五 の 形)	(取) 六段	細貝 昭吾	(受) 六段	藤川 進	(群馬県)
第36回	H. 24. 10. 8	講 道 館	(柔 の 形)	(取) 六段	森 正仁	(受) 五段	相羽 秀昭	(愛知県)
				(取) 初段	川村 麻衣	(受) 五段	櫻井 太郎	(群馬県)
			(投 の 形)	(取) 六段	室田 次朗	(受) 六段	徳留 義見	(神奈川県)
				(取) 三段	三村 真輝	(受) 五段	藤原 靖真	(岡山県)
第37回	H. 25. 10. 14	講 道 館	(柔 の 形)	(取) 五段	青木 保宏	(受) 六段	榎本 好根	(愛知県)
				(古式の形)	(取) 五段	春日井和幸	(受) 六段	中村 太
			(極 の 形)	(取) 六段	中澤 伸一	(受) 五段	中澤 正	(北海道)
				(取) 六段	夫馬喜久治	(受) 五段	春日井和幸	(愛知県)
第38回	H. 26. 10. 13	講 道 館	(柔 の 形)	(取) 六段	真中 進	(受) 五段	青木 竜也	(茨城県)
			(取) 五段	相羽 秀昭	(受) 六段	森 正仁	(愛知県)	
第39回	H. 27. 10. 12	講 道 館	(柔 の 形)	(取) 七段	横山 悦子	(受) 六段	大森 千草	(長野県)
			(固 の 形)	(取) 四段	中山 智史	(受) 四段	林 聖治	(岐阜県)
			(講道館護身術)	(取) 六段	阿部 達夫	(受) 七段	難波 英樹	(東京都)
				(取) 六段	山本 幸雄	(受) 六段	川口 稔	(福井県)
第40回	H. 28. 10. 9	講 道 館	(投 の 形)	(取) 六段	藤崎 満	(受) 六段	妹尾 徹	(千葉県)
			(古式の形)	(取) 七段	藤川 進	(受) 六段	細貝 昭吾	(群馬県)
	(取) 七段	見原 道生		(受) 六段	甲斐 浩二	(宮崎県)		
第41回	H. 29. 10. 8	講 道 館	(投 の 形)	(取) 五段	内山 貴之	(受) 三段	尾崎 準	(長野県)
			(固 の 形)	(取) 四段	中山 智史	(受) 四段	林 聖治	(岐阜県)
第42回	H. 30. 10. 7	講 道 館	(古式の形)	(取) 七段	藤川 進	(受) 七段	細貝 昭吾	(群馬県)
第42回	H. 30. 10. 7	講 道 館	(固 の 形)	(取) 五段	中山 智史	(受) 五段	林 聖治	(岐阜県)
			(柔 の 形)	(取) 四段	石田 桃子	(受) 三段	石田真理子	(愛知県)

日整全国柔道大会 功劳表彰者氏名

(敬称略・順不同)

回・年月日	氏 名						
第7回 (S. 58. 11. 5)	滝沢 茂(東北) 渡辺利一郎(南関東) 宮本 隆(南関東)	木暮 昌利(北関東) 松下 倫久(大阪) 武田 道昭(四国)	田村 四郎(東京) 工藤喜代廣(南関東) 栗山 昇(北信越東部)	望月 映英(東海東部) 石橋 良治(中国) 上田 隆三(東京)			
第8回 (S. 59. 10. 27)	田村 彰国(北関東) 加藤 幸夫(南関東) 木村 良徳(東海西部)	吉田 義正(東海東部) 重白太慧人(中国) 大川 健介(四国)	関口 孝義(北関東) 篠原 博義(北信越東部) 坪田 栄吉(東海西部)	早瀬 高行(東海東部) 富岡 周三(中国) 橋本 保範(九州)			
第9回 (S. 60. 10. 26)	佐藤 良夫(東北) 見田 宮三(東海東部)	大前 正行(東海西部) 水野 勝夫(北信越西部)	吉田 公一(北関東) 宗宮 市雄(東海西部)	岩井 克良(北信越西部)			
第10回 (S. 61. 10. 25)	北村 守(北海道) 岩崎 健二(東北) 新岡 正三(東京) 小野澤昭雄(東京)	高宮 廣(東京) 山口 政吉(大阪) 松浦 明弘(大阪)	鈴木 壮士(東北) 北爪 隆雄(北関東) 三浦 六郎(東京)	安藤 茂(大阪) 柏 固郎(大阪) 湊 庄市(四国)			
第11回 (S. 62. 10. 24)	日野 暢也(北海道) 村山 良治(北信越東部) 八尋 力(近畿)	雑賀 昌盛(近畿) 野口 幸男(九州)	浅野 栄一(北信越東部) 伊東 雅和(東海西部)	田島 常留(九州) 大住 順治(中国)			
第12回 (S. 63. 10. 22)	特別表彰		木暮 昌利(北関東)(10回) 外尾 真弘(北海道) 山浦 道夫(北関東) 佐々木政彦(東京)	石川 裕章(東海東部) 長尾 大蔵(大阪) 河野 弘(中国)			
第13回 (H. 元. 10. 28)	特別表彰		富岡 周三(中国)(10回) 加藤 文蔵(東海西部) 坪井 昇(中国) 清川 義郎(九州)	五月女欣也(北関東) 武田 正(東京) 神田 雅春(北信越西部)	田中 俊彦(東海東部) 橋詰 晟(四国)		
第14回 (H. 2. 10. 27)	特別表彰		佐藤 良夫(東北)(10回) 宮本 隆(南関東)(10回) 須藤 十(東北) 中西 敏昭(大阪)	滝沢 茂(東北)(10回)	大西 猛(北海道) 松江 隆(大阪)	新井 良政(中関東) 薄井 敏朗(南関東)	
第15回 (H. 3. 10. 26)	特別表彰		松下 倫久(大阪)(10回) 加藤伊三郎(中関東) 岩下 富夫(北信越東部) 酒井 初雄(東海東部)	関口 明(中関東) 内山 富之(北信越東部) 松本 祐司(四国)	井出 昌明(北関東) 藤崎 満(南関東) 東 秀光(北信越西部)	中野 高男(中関東) 小竹 一良(北信越西部) 岡田 安和(中国)	
第16回 (H. 4. 10. 4)	下野 努(中関東) 中田喜代司(東海西部) 久藤 利喜(中国)	上條 信治(北信越西部) 佐藤 通泰(中国) 石坂 修一(九州)	小柴徳太郎(東海西部) 宮岡 健治(四国)	橋本 誠(東海東部) 大住 武(四国)			
第17回 (H. 5. 10. 3)	特別表彰		小野澤昭雄(東京)(10回) 田中 登(南関東) 武田 克彦(東海西部)	西原 一鏞(大阪)(10回) 難波 英樹(東京) 磯江 信巖(四国)	倉井 洋治(北関東) 木山 時雨(北信越西部)	大森 素久(北信越東部) 国沢 光雄(四国)	
第18回 (H. 6. 10. 2)	特別表彰		石川 裕章(東海東部)(10回) 三並 良雄(東海西部)	池田 修平(北信越西部)	山口 正(東京)	久保山 隆(九州)	
第19回 (H. 7. 10. 15)	特別表彰		宮本 隆(南関東)(15回) 佐々木政彦(中関東)(10回) 田中 俊彦(東海東部)(10回) 瀬尾 健次(東海東部) 山元 俊隆(東海東部) 川瀬 泰司(中国)	富岡 周三(中国)(15回) 五月女欣也(北関東)(10回)	佐藤 武(北信越東部) 山下 武(近畿) 江田 三男(南関東)	千葉 覚貞(北海道) 小林惣重郎(東京) 大本 広雄(北海道)	畑中 稔(中国) 広谷 正己(近畿)
第20回 (H. 8. 10. 6)	特別表彰		松下 倫久(大阪)(15回) 岩崎 健二(東北)(10回) 竹谷 斉(北海道) 吉田 新吾(大阪)	飯塚 明(東京)(10回) 平尾 良彦(近畿) 橋本 昇(東京)	大久保達朗(九州) 水元 一男(中関東)	細川 清治(東海西部)	
第21回 (H. 9. 10. 12)	特別表彰		雑賀 昌盛(近畿)(10回) 柴田 秋実(北海道) 佐藤 勝利(東京)	松本 祐司(四国)(10回) 高橋 浩一(北関東)	石田 雅明(東海東部) 坂本 恒夫(東京)	中山 泰雄(四国)	

回・年月日	氏名
第22回 (H. 10. 10. 11)	特別表彰 佐藤 良夫(岩手)(15回) 難波 英樹(東京)(10回) 飯田 喜七(岡山) 篠原 範昭(東京) 手嶋新一郎(福岡) 石坂 秀司(長野) 相馬 孝之(新潟) 平田 宏文(徳島)
第23回 (H. 11. 10. 11)	特別表彰 英 道生(神奈川)(10回) 稲垣 智信(北海道) 向山 一夫(山梨) 重石 一昭(大分) 佐藤 太(秋田) 岩澤 勇治(静岡) 石田金次郎(埼玉) 山下 淳(大阪) 會田 俊雄(埼玉) 神原 和成(広島)
第24回 (H. 12. 10. 9)	特別表彰 滝沢 茂(青森)(15回) 小竹 一良(富山)(10回) 佐野 秀明(東京) 玉川 雅淳(愛知) 吉田 篤生(岐阜) 磯田 實(兵庫)
第25回 (H. 13. 10. 8)	特別表彰 富岡 周三(岡山)(20回) 薄井 敏朗(千葉)(10回) 久乘 崇(神奈川) 渡辺 剛(山口) 大澤 均(群馬) 伊藤 孝彦(三重) 佐々木政彦(埼玉)(15回) 国澤 光雄(高知)(10回) 加藤 勝範(新潟) 利仁(香川)
第26回 (H. 14. 10. 14)	特別表彰 倉井 洋治(栃木)(10回) 吉田 新吾(大阪)(10回) 山中 宏之(秋田) 綱井 照高(東京) 西村 義人(東京) 諸山 和美(愛知) 岩下 富夫(長野)(10回) 中山 泰雄(高知)(10回) 雨谷 紀雄(茨城) 松岡 慶樹(東京) 別所 道記(東京) 土屋 靖(和歌山)
第27回 (H. 15. 10. 13)	特別表彰 難波 英樹(東京)(15回) 長ヶ部孔司(山形) 斎藤 和成(千葉) 宇佐美進三(東京) 高木 志行(東京) 今藤 邦宏(東京) 篠田 善晴(岐阜) 田中 俊彦(愛知)(15回) 利幸(埼玉) 松市(千葉) 勝子(東京) 都築 茂(東京) 久雄(東京) 勝彦(奈良) 関根 正幸(埼玉) 小坂 敏幸(千葉) 田中 一郎(東京) 池内 雅胤(東京) 伊藤 満雄(東京) 山元 一孝(宮崎)
第28回 (H. 16. 10. 11)	特別表彰 英 道生(神奈川)(15回) 稲垣 智信(北海道)(10回) 岩澤 勇治(静岡)(10回) 平尾 良彦(滋賀)(10回) 篠瀬 豊(栃木) 丸田 克幸(石川) 松本 祐司(香川)(15回) 小椋 国吉(栃木)(10回) 関口 明(埼玉)(10回) 嶋村 和彦(群馬) 森 政彦(大分)
第29回 (H. 17. 10. 10)	特別表彰 五月女欣也(栃木)(15回) 佐藤 太(秋田)(10回) 神原 和成(広島)(10回) 大藤 忠昭(群馬) 紙谷 建生(愛知) 平田 和義(大阪) 鎌倉 和広(香川) 雑賀 昌盛(兵庫)(15回) 橋本 誠(三重)(10回) 高橋 洋一(埼玉) 黒氏 憲(愛知) 尾高 博(岡山) 鈴木 孝年(愛媛)
第30回 (H. 18. 10. 9)	特別表彰 久乘 崇(神奈川)(10回) 宇井 肇(栃木) 吉田 正治(千葉) 川口 稔(福岡) 宮嶋 隆(福島) 吉田 孝(千葉) 竹野 敬治(石川) 林 岩男(鹿児島) 伊藤 孝彦(三重)(10回) 吉博(埼玉) 英男(神奈川) 雄策(山口) 村田 次郎(埼玉) 渡辺 勝男(神奈川) 檜山 尚浩(福岡)
第31回 (H. 19. 10. 8)	特別表彰 別所 道記(東京)(10回) 山下 淳(大阪)(10回) 佐々木辰雄(北海道) 阿部 松雄(新潟) 秋山 啓二(大阪) 塩川 哲也(福岡) 中村 和志(北海道) 齊藤公志郎(長野) 牛島 庸夫(大阪) 新井 博海(埼玉) 竹上 勝(愛知) 桂 剛(大阪) 佐々木和行(東京) 石津 佳和(奈良) 中谷 弘(山口)
第32回 (H. 20. 10. 13)	特別表彰 岩下 富夫(長野)(15回) 石坂 修一(福岡)(10回) 竹内 公悦(青森) 森 暁夫(神奈川) 山根 一人(岡山) 佐藤 裕美(北海道)(10回) 成田 正人(青森) 小鳥居寛仁(山梨) 藤川 進(群馬) 下地 秀和(東京)

回・年月日	氏名
第33回 (H. 21. 10. 12)	特別表彰 難波 英樹(東京都)(20回) 稲垣 智信(北海道)(15回) 岩澤 勇治(静岡県)(15回) 有馬 昇(秋田)(10回) 嶋村 和彦(群馬)(10回) 佐野 秀明(東京)(10回) 市川 建(栃木) 岡本 雅信(千葉) 森澤 秀一(千葉) 根岸 清道(神奈川県) 大澤 正英(山梨) 立河 洋(東京) 伊東 祐男(新潟) 牛木 幹人(新潟) 小倉 弘行(石川) 橋本 覚(三重) 竹谷 俊幸(兵庫) 坂本 慎吾(宮崎)
第34回 (H. 22. 10. 11)	特別表彰 五月女欣也(栃木)(20回) 高橋 洋一(埼玉)(10回) 宮本 隆弘(神奈川県)(10回) 平田 和義(大阪)(10回) 丹尾 辰彦(茨城) 新井 丈夫(埼玉) 宮越 務(富山) 山本 俊広(京都) 平野 相徳(和歌山) 正木 一将(和歌山) 小池 正人(大阪) 藤原 澄男(岡山) 奈須 開生(宮崎)
第35回 (H. 23. 10. 10)	特別表彰 薄井 敏朗(千葉)(15回) 狩野 浩一(群馬)(10回) 川口 稔(福井)(10回) 森川 雄策(山口)(10回) 檜山 尚浩(福岡)(10回) 工藤 渉(青森) 一ツ柳 明(茨城) 登本 茂芳(埼玉) 渡邊 秀樹(山梨) 畑山 元政(東京) 岩下 貴士(長野) 高塚 剣(愛知) 中井 孝好(三重) 三並 孝豪(岐阜) 吉本 大輔(高知) 小林 信哉(福岡) 平山 隆裕(佐賀)
第36回 (H. 24. 10. 8)	特別表彰 別所 道記(東京)(15回) 黒氏 憲(愛知)(10回) 鈴木 孝年(愛媛)(10回) 高木 啓光(群馬) 細谷 吉隆(千葉) 車 耕作(神奈川県) 小川 高巧(神奈川県) 大村 昌弘(東京) 岡本 栄治(東京) 古谷 富治(新潟) 小林 修(長野) 河合 優(富山) 西岡 正訓(三重) 細野 勝己(岐阜) 小田 剛(大阪) 茂木 春喜(高知) 伊福 義雄(宮崎)
第37回 (H. 25. 10. 14)	特別表彰 佐藤 裕美(北海道)(15回) 神原 和成(広島)(15回) 桂 剛(大阪)(10回) 中谷 弘(山口)(10回) 富岡 利仁(香川)(10回) 新井 伸章(埼玉) 高橋 靖(埼玉) 大友 隆雄(神奈川県) 加藤 学(神奈川県) 坂本 周作(神奈川) 上本 英彦(東京) 木目沢哲哉(東京) 津久井佑隆(東京) 原 豊(東京) 北村 公(新潟) 榎本 好根(愛知) 湊谷 知幹(京都) 黒田 善治(和歌山) 石居 謙二(大阪) 古味 直憲(高知) 重松 哲夫(福岡)
第38回 (H. 26. 10. 13)	特別表彰 岩澤 勇治(静岡県)(20回) 小倉 弘行(石川)(10回) 牛木 幹人(新潟)(10回) 篠田 善晴(岐阜)(10回) 高橋 一夫(北海道) 北浦 健司(石川)(10回) 義見(神奈川県) 豊島 公(東京) 奥川 賢一(東京) 中澤 伸一(北海道) 徳留 寿人(石川)
第39回 (H. 27. 10. 12)	特別表彰 小椋 国吉(栃木県)(15回) 岡本 雅信(千葉県)(10回) 佐藤 克広(北海道) 和久 朋行(北海道) 大河原 孝(岩手県) 佐藤 昭彦(宮城県) 妹尾 徹(千葉県) 松本 鉄雄(神奈川県) 杉本 秀人(東京都) 斉藤 文教(東京都) 村山 洸介(長野県) 一瀬 克紘(静岡県) 中山 智史(岐阜県) 大矢 八平(兵庫県) 玉山 晋治(大阪府) 樋口 真臣(大阪府)
第40回 (H. 28. 10. 9)	特別表彰 高橋 洋一(埼玉県)(15回) 森川 雄策(山口県)(15回) 岩下 貴士(長野県)(10回) 八本木通秋(福井県)(10回) 石田 雅明(愛知県)(10回) 筒井 寛幸(北海道) 松本 明(茨城県) 刈屋 遵(栃木県) 田島 隆行(群馬県) 渡邊 健司(千葉県) 松崎 勝美(神奈川県) 渡邊 易彦(山梨都) 春日井和幸(愛知都) 札堂 勇(三重県) 片田 敏司(岐阜県) 多田 慎吾(香川県) 安東 鉄男(大分県)
第41回 (H. 29. 10. 8)	特別表彰 嶋村 和彦(群馬県)(15回) 檜山 尚浩(福岡県)(15回) 山下 淳(大阪府)(15回) 工藤 渉(青森県)(10回) 吉本 大輔(高知県)(10回) 澤田 哲也(北海道) 金子 哲久(埼玉) 井上 直哉(東京都) 和田 雅史(東京都) 吉田 卓実(静岡県) 相羽 秀昭(愛知県) 馬場 健太郎(熊本県)
第42回 (H. 30. 10. 7)	特別表彰 薄井 敏朗(千葉県)(20回) 桂 剛(大阪府)(15回) 平田 和義(大阪府)(15回) 新井 伸章(埼玉)(10回) 登本 茂芳(埼玉)(10回) 坂本 周作(神奈川)(10回) 斉藤 公志郎(長野県)(10回) 湊谷 知幹(京都府)(10回) 古味 直憲(高知県)(10回)

回・年月日	氏名
第42回 (H. 30. 10. 7)	<p>有櫛 裕樹(北海道) 木村 清徳(宮城県) 野田 康二(宮城県) 松田 幸泰(秋田県)</p> <p>高橋 喜久雄(山形県) 眞中 進(茨城県) 倉井 康雄(栃木県) 荻野 和重(埼玉県)</p> <p>村田 四郎(埼玉県) 室田 次朗(神奈川県) 渡辺 直也(山梨県) 内山 貴之(長野県)</p> <p>佐々木 西盛(福井県) 佐藤 泰史(静岡県) 渡邊 正人(静岡県) 森 正仁(愛知県)</p> <p>羽田野 剛(愛知県) 川崎 洋平(三重県) 日下部 正樹(岐阜県) 渡邊 勇次(岐阜県)</p> <p>久西 睦人(滋賀県) 杉尾 裕司(滋賀県) ガンパル・フデムツ(京都府) 井上 彰二(京都府)</p> <p>大西 辰博(京都府) 梶谷 登(奈良県) 磯田 和伸(兵庫県) 伊藤 和仁(大阪府)</p> <p>田村 修(広島県) 若月 宏之(山口県) 山口 剛志(山口県) 河邊 法隆(香川県)</p> <p>大平 篤(香川県) 音泉 秀樹(香川県) 沖 秀和(愛媛県) 魚崎 陽一郎(愛媛県)</p> <p>亀岡 英仁(愛媛県) 堀 敏夫(徳島県) 永竿 茂男(大分県) 今村 昭紀(大分県)</p> <p>古澤 均(佐賀県) 兵動 信博(佐賀県) 清崎 威朗(熊本県) 林 岩宏(鹿児島県)</p>
第43回 (R. 1. 10. 14)	<p>特別表彰 宮本 隆弘(神奈川県)(15回)</p> <p>根岸 清道(神奈川県)(10回) 田中 寿人(石川県)(10回)</p> <p>茂木 春喜(高知県)(10回)</p> <p>工藤 重孝(北海道) 西尾 義裕(北海道) 葉名尻 亘(北海道) 渡部 康光(宮城県)</p> <p>相沢 寿(茨城県) 石井 洋(群馬県) 小野塚 弘(群馬県) 根岸 誉和(群馬県)</p> <p>渡辺 和洋(群馬県) 渡辺 良行(群馬県) 渡邊 公(千葉県) 清水 泰平(神奈川県)</p> <p>松村 直行(長野県) 浅井 友哉(愛知県) 古市 博己(三重県) 岡田 達也(京都府)</p> <p>木村 友慈(奈良県) 木村 正明(和歌山県) 山口 真一(大阪府) 田中 栄一(岡山県)</p> <p>福井 宏治(愛媛県) 見原 道生(宮崎県)</p>